LP-8200C

ネットワーク設定ガイド

EPSON

4010645
K02-00

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービス及び技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書のご案内

詳しい目次は次ページにあります。

目次

9 OS/2印刷

10 設定ユーティリティの各機能

11 EpsonNet WebManagerについて

12 付録

マークについて

このマークの部分には注意事項が記載されています。必ずお読みになるようお願いいたします。

このマークの部分には、補足的な説明が記載されています。

表記について

Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Microsoft® Windows NT® operating system Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows NT® operating system Version 3.51 日本語版
の表記について

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows95、Windows98、WindowsNTと表記しています。また、Windows95、Windows98、WindowsNTを総称する場合は「Windows」、複数のWindowsを併記する場合は「Windows95/98/NT」のようにWindowsの表記を省略することがあります。

1 ご使用の前に

この章では、ネットワーク I/F の概要や、ネットワーク I/F を使用するための設定の概要を説明します。
ネットワークの設定を行う前に、本章をよくお読みください。

機能の概要

- 本機は、SNMP、プリンタMIBに対応しています。
- ネットワークI/Fは10BASE-T/100BASE-TX用RJ-45コネクタを装備しています。コネクタは自動選択されます（手動での選択はできません）。
- EPSONプリントサーバ管理者用ユーティリティであるEpsonNet WinAssistからは、ネットワークI/FのTCP/IP、NetWare、NetBEUI、AppleTalk情報が設定できます。EpsonNet MacAssistからは、ネットワークI/FのTCP/IPとAppleTalk情報が設定できます。
- ネットワークI/FにIPアドレスを設定すると、Webブラウザで動作する管理者用ユーティリティのEpsonNet WebAssistから、ネットワークI/FのNetWare、TCP/IP、AppleTalk、NetBEUI、SNMP情報が設定できます。
- EpsonNet WebAssistからは、プリンタの現在の状態が確認できます。
- EpsonNet WebAssistからは、SNMPのコミュニティ、トラップ、管理者情報が設定できます。

動作環境

対応OSとプロトコル

OS	バージョン	対応プロトコル
NetWare	・3.xJ	・バインダリモード
	・4.1xJ ・IntranetWare-J	・NDSモード ・バインダリエミュレーションモード
	・5J	・NDSモード ・キューベースプリントシステム ・NDPS
Macintosh	・漢字Talk7.1/7.5.x ・MacOS 7.6.x/8.x	・AppleTalk
Windows95/98	--	・TCP/IP（ユーティリティ EpsonNet Direct Print使用） ・NetBEUI
WindowsNT	・4.0	・TCP/IP（LPR） ・NetBEUI
OS/2 Warp (OS/2 WarpConnect, OS/2 Warp Server)	・V3 ・V4	・TCP/IP（Warp付属のlprportd） ・NetBEUI

- **NetWare5JのNDPSにある[自動ドライバインストール]には対応していません。**
- **WindowsNTは、WindowsNT（Intel版）にのみ対応しています。**
- **WindowsNT3.51からは、ネットワークI/Fの設定のみ行えます。WindowsNT3.51からの印刷はできません。**
- **EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssistについての詳細は、「3 設定ユーティリティのインストール」をご覧ください。**

ご使用の前に

作業の進め方

次の手順で、ネットワークへの接続からプリンタ設定までを行います。詳しくは、参照ページをご覧ください。

	作業の内容		参照ページ
1	ネットワークへの接続		**「2 ネットワークへの接続」**
2	設定ユーティリティのインストール		**「3 設定ユーティリティのインストール」**

TCP/IPを使って印刷する場合や、EpsonNet WebAssistを使う場合

	作業の内容		参照ページ
3	ネットワークI/Fの設定に使うOSへTCP/IPを組み込んで、ネットワークI/FのIPアドレスを設定する		**「4 TCP/IPの設定」**
4	次の中から印刷に使用するOSを選び、ネットワークI/Fの設定をする		
	Windows95/98	EPSON TCP/IP印刷 NetBEUI印刷	**「5 Windows95/98印刷」**
	WindowsNT4.0	TCP/IP(LPR)印刷 NetBEUI印刷	**「6 WindowsNT4.0印刷」**
	Macintosh	AppleTalk印刷	**「7 AppleTalk印刷」**
	NetWare	バインダリプリントサーバ印刷 NDSプリントサーバ印刷 リモートプリンタ印刷 NDPS印刷	**「8 NetWare印刷」**
	OS/2	TCP/IP（lprportd）印刷 NetBEUI印刷	**「9 OS/2印刷」**

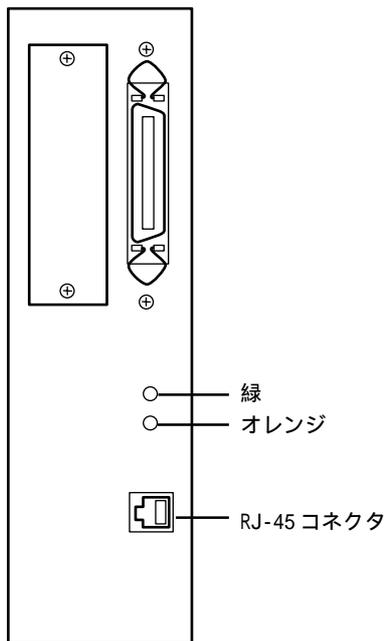
2 ネットワークへの接続

この章ではネットワークI/Fの各部の名称と、ネットワークへの接続について説明します。

ネットワークへの接続は、必ずプリンタの電源を切り、電源ケーブルを外してから行ってください。

各部の名称と機能

ネットワークI/F

ネットワークI/Fの各部の名称と機能を説明します。
プリンタ背面には、プリンタの状態を表すステータスLEDがあります。

緑

データ通信の状態を示します。

緑	状態
点灯	正常待機時
点滅	プリンタがデータを受け取ったとき

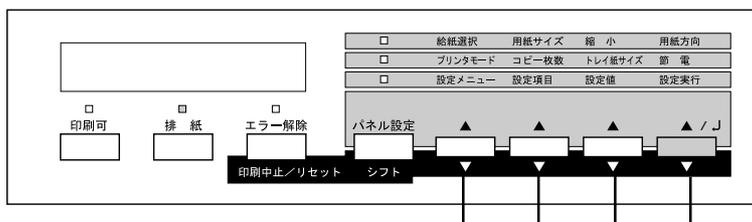
オレンジ

コネクタの接続状態を示します。

オレンジ	状態
点灯	100BASE-TXで接続されている場合
消灯	10BASE-Tで接続されている場合

Ethernetケーブルは、シールドケーブルを使用してください。

スイッチの機能

操作パネルで各種の設定やステータスシート印刷を行う場合、各スイッチを押して設定メニューや設定項目を切り替えます。
この場合の各スイッチの機能は次のとおりです。

スイッチ	設定内容
①設定メニュー	液晶ディスプレイに表示される設定メニューの名前を切り替えます。
②設定項目	[設定メニュー]スイッチで選択した設定メニューに含まれる設定項目を切り替えます。
③設定値	[設定項目]スイッチで選択した設定項目の設定値を切り替えます。 ステータスシート印刷等、設定値の変更ではなく[設定項目]で選択した項目の処理を実行する場合、本スイッチは操作しません。
④設定実行	[設定値]スイッチで選択した設定値を有効にします。 ステータスシート印刷等、設定値の変更ではなく[設定項目]で選択した項目の処理を実行する場合、[設定値]スイッチは操作せず、本スイッチを押すと処理が実行されます。

・［設定メニュー］スイッチ、［設定項目］スイッチ、［設定値］スイッチは、1回押すごとに液晶パネルの表示が切り替わり、現在選択されている内容が確認できます。

・各スイッチを押し続けると、液晶ディスプレイの表示が自動的に切り替わります。

・［シフト］スイッチを押しながら各スイッチを押すと、各スイッチを押したときと逆の順番に液晶ディスプレイの表示が切り替わります。

ネットワークへの接続

プリンタをネットワークに接続します。プリンタの電源を切ってから行ってください。

ネットワークへの接続

1 ネットワークへの接続

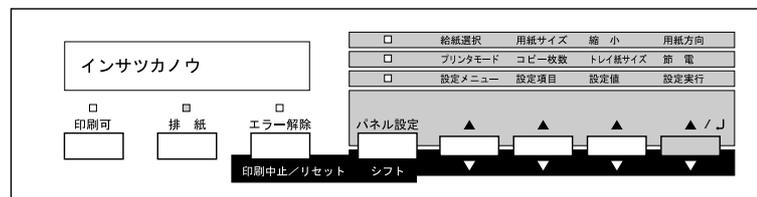
プリンタの電源をオフにして、本ネットワークI/FのRJ-45コネクタからネットワークに、ネットワークケーブルを接続します。

- **ネットワークケーブルは、市販のEthernetインターフェイスケーブルが必要です。シールドツイストペアケーブル（カテゴリー5）を使用してください。**
- **本ネットワークI/FのIPアドレスは、初期値にプライベートアドレス[192.168.192.168]が設定されています。お使いのネットワーク環境に、これと重複するIPアドレスがないことを確認してください。重複するIPアドレスがある場合は、ネットワーク管理者に確認の上、重複している機器の電源をオフにして、ネットワークI/FのIPアドレスを変更してください。設定の方法は「4 TCP/IPの設定」をご覧ください。**
- **本製品は、クロスケーブルによるコンピュータとの直接接続には対応していません。必ずHUBを介して接続してください。**

2 用紙セット

プリンタの電源をオン(|)にして、プリンタの用紙トレイまたは用紙カセット1に用紙をセットします。

3 プリンタの起動

プリンタの電源をオン(|)にして、操作パネルの液晶ディスプレイに[インサツカノウ]と表示されるまで待ちます。

4 設定メニューの表示

①［設定メニュー］スイッチを押すと、液晶ディスプレイに[テストインサツメニュー]と表示されます。

②［設定項目］スイッチを4回押すと、液晶ディスプレイに[ネットワークジョウホウ]と表示されます。

5 ネットワークステータスシートの印刷

［設定実行］スイッチを1回押すと、ネットワークステータスシートが印刷されます。ネットワークステータスシートの印刷がはじまるまで、数秒の時間がかかります。

プリンタの操作パネルの詳細については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

ネットワークステータスシートについて

ネットワークI/Fの設定を始める前に、ネットワークステータスシートの印刷をしてください。
ネットワークステータスシートには、ネットワークI/Fの現在の設定や、MACアドレスなどの重要な情報が載っています。次ページの印刷例をご覧ください。

ネットワークステータスシートの印刷例

+--+

| EPSON Built-in 10Base-T/100Base-TX Network Status Sheet 1 of 2 |

+--+

		関連ページ
<General Information>		
Card Type	Built-in	
MAC Address	00:00:48:xx:xx:xx	→4～10章
Hardware	Ver.	
Software	Ver.	
<Diagnostics Report>		
Network Link Status	100BASE-T, Half Duplex	
<NetWare>	Enable	→「8 NetWare印刷」
Mode	Standby	
Primary Frame Type	Auto	
IPX Network Node	XXXXXXXX (Ethernet_802.2)	
	XXXXXXXX (Ethernet_802.3)	
	XXXXXXXX (Ethernet_II)	
	XXXXXXXX (Ethernet_SNAP)	
Print Server Name	LP-8200C-xxxxxx	
Polling Interval	5	
Primary File Server Name		
NDS Tree		
NDS Context		
Primary Print Server Name	LP-8200C-XXXXXX	
Print Port Number	0	
<TCP/IP>		→「4 TCP/IPの設定」
IP Address	192.168.192.168	
Subnet Mask	255.255.255.0	
Default Gateway	255.255.255.255	
Host Name	EPXXXXXX	
Get IPAddress	Panel	
<AppleTalk>	Enable	→「7 AppleTalk印刷」
Printer Name	LP-8200C-xxxxxx	
Zone Name	*	
Network Number Set	Auto	
Network Number	8-8	
Node ID	128	
Entity Type #1		
.		
.		
<NetBEUI>	Enable	→「5 Windows95/98印刷」
NetBIOS Name	EPxxxxxx	「6 WindowsNT4.0印刷」
Workgroup Name	WORKGROUP	
Device Name	EPSON	

+--+

+--+
|　EPSON Built-in 10Base-T/100Base-TX Network Status Sheet 2 of 2　|
+--+

関連ページ
→「10 設定ユーティリティの各機能」

<SNMP>

Read Community	public
IP Trap 1	Disable
IP Trap Address 1	0.0.0.0
IP Trap Community 1	
IP Trap 2	Disable
IP Trap Address 2	0.0.0.0
IP Trap Community 2	
IPX Trap 1	Disable
IPX Trap Address 1	00000000:000000000000
IPX Trap Community 1	
IPX Trap 2	Disable
IPX Trap Address 2	00000000:000000000000
IPX Trap Community 2	

+--+

3 設定ユーティリティのインストール

プリンタをネットワークに接続したら、次にネットワークI/F設定ユーティリティEpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssistをインストールします。
ユーティリティの機能については、各章にあるEpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssistからの設定のページ、および**「10 設定ユーティリティの各機能」**をご覧ください。

動作環境

ネットワークI/Fの設定をするユーティリティEpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssistの動作環境は次のとおりです。
EpsonNet WebAssistは、インストールの必要はありません。ネットワークI/FにIPアドレスを設定することで使用できます。

動作環境

EpsonNet WinAssist		
対応機種	**対応OS**	**特長**
・右のOSが動作する環境 ・IBM PC/AT互換機、PC9801シリーズ	・Windows95/98 ・WindowsNT4.0/3.51 Server&Workstation	ネットワークI/FのTCP/IP、NetWare、NetBEUI、AppleTalk情報を設定します。
EpsonNet MacAssist		
対応機種	**対応OS**	**特長**
・右のOSが動作する環境 ・Apple社Macintoshシリーズ	・漢字Talk 7.1/7.5.x ・MacOS 7.6.x/8.x	ネットワークI/FのTCP/IP、AppleTalk情報を設定します。
EpsonNet WebAssist		
対応機種	**対応ブラウザ**	**特長**
・右のブラウザが動作する環境	・インターネットエクスプローラVersion 4.0以降（添付のもの以外も可） ・ネットスケープナビゲータ Version3.02以降	ネットワークI/FのNetWare、TCP/IP、AppleTalk、NetBEUI、SNMP情報を設定します。

- **NetWareサーバがない環境や、NetWareサーバにログインしていない環境では、EpsonNet WinAssistによるNetWareの設定はできません。**
- **EpsonNet WebAssistを使用するには、お使いのコンピュータにあらかじめTCP/IPが組み込まれている必要があります。TCP/IPの確認は、「4 TCP/IPの設定」を参照してください。**

インストールの条件

EpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssistをインストールするコンピュータの、ハードディスクの空き容量が4MB以上であることを確認してください。

- **本ネットワークI/Fは、コンピュータとネットワークI/Fとの間にHUBを介して、ストレートケーブルで接続した環境でお使いください。**
- **本製品に同梱されているEPSON LP-8200Cソフトウェア CD-ROMには、インターネットエクスプローラVersion5.0（Windows）/4.5（Macintosh）が収録されています。ご利用のコンピュータにインターネットエクスプローラVersion4.0以降やネットスケープナビゲータVersion3.02以降がインストールされていない場合は、以下のディレクトリからインターネットエクスプローラをインストールしてください。**

Windows95/98/NT4.0	**[Msie]-[W9X_NT40]-[Ie50]-[Ie5setup.exe]**
WindowsNT3.51	**[Msie]-[Winnt351]-[Setup.exe]**
Macintosh	**[ネットワークユーティリティ]-[Internet Explorer]**

- **WindowsNT4.0をご利用の場合、NTのバージョンがServicePack3以降にアップグレードされている必要があります。お使いのWindowsNT4.0をアップグレードしていない場合は、[Msie]-[W9X_NT40]-[Nt4Sp3]フォルダ内のReadmeファイルを参照してアップグレードしてください。**

EpsonNet WinAssist のインストール

- EpsonNet WinAssist のインストール後に、OS でプロトコルやサービスを追加または削除すると、EpsonNet WinAssist が正常に動作しなくなることがあります。その場合は、EpsonNet WinAssist をアンインストールしてから、インストールし直してください。
- TCP/IP 印刷を行う場合や、EpsonNet WebAssist を使う場合は、「4 TCP/IP の設定」を参照して TCP/IP の組み込みと設定を行ってから、EpsonNet WinAssist をインストールしてください。
- EpsonNet WinAssist のアンインストール方法は、「EpsonNet WinAssist のアンインストール」（164 ページ）を参照してください。

Windows95/98/NT4.0 へのインストール

1 インストール画面の起動

同梱の LP-8200C プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM をコンピュータにセットします。

2 インストール

①CD-ROM をセットすると、自動的に[EPSON インストールプログラム]が起動します。
[EpsonNet WinAssist のインストール]を選択して、画面右の 次へ をクリックします。

②この後は、画面の指示に従ってインストールします。

- WindowsNT3.51 をご利用の場合は、[プログラムマネージャ]を開き[アイコン]メニューの[ファイル名を指定して実行]をクリックして以下のコマンドを入力し、OK ボタンをクリックします。
  例） D:\EPSETUP（D ドライブに CD-ROM をセットした場合）
- Windows95/98/NT4.0 をご利用の場合で[EPSON インストールプログラム]が自動的に起動しないときは、マイコンピュータ内の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

EpsonNet WinAssist 以外に Windows で使用できるユーティリティは、次のとおりです。

- **ネットワーク上のデバイスを Web ブラウザから管理する EpsonNet WebManager（「11 EpsonNet WebManager について」参照）**
- **Windows95/98 で TCP/IP 印刷をするときに使用する EpsonNet Direct Print（「5 Windows95/98 印刷」参照）**
- **ご利用のコンピュータからプリンタの状態をモニタできる EPSON プリンタウィンドウ!3（インストールは「セットアップガイド」を、使用方法は「ユーザーズガイド」を参照）**

これでインストールは終了です。次のケースに該当する方は、続いて EpsonNet WinAssist を使って、ネットワーク I/F に IP アドレスを設定します。**「4 TCP/IP の設定」**をご覧ください。

- EpsonNet WebAssist（ネットワーク I/F に組み込まれているユーティリティ）を使用する
- NetWare5J で NDPS のリモート（IP 上で LPR）印刷をする
- Windows95/98 で EpsonNet Direct Print を使って TCP/IP 印刷をする
- WindowsNT で TCP/IP（LPR Port）印刷をする

EpsonNet MacAssistのインストール

1　インストール画面の起動

同梱のLP-8200Cプリンタドライバ・ユーティリティCD-ROMをドライブにセットします。

2　インストール

①ディスクのウィンドウが開きますので、[ネットワークユーティリティ]フォルダをダブルクリックして開きます。
ディスクのウィンドウが開かない場合は、ディスクのアイコンをダブルクリックして開いてください。

②[EpsonNet MacAssist]フォルダをダブルクリックして開きます。

③EpsonNet MacAssistのアイコンをドラッグし、ハードディスクにコピーします。

これでインストールは終了です。次のケースに該当する方は、続いてEpsonNet MacAssistを使って、ネットワークI/FにIPアドレスを設定します。**「4 TCP/IPの設定」**をご覧ください。

・　EpsonNet WebAssist（ネットワークI/Fに組み込まれているユーティリティ）を使用する

4 TCP/IPの設定

ネットワークに接続したプリンタでTCP/IP印刷をする場合や、ネットワークI/Fの設定にEpsonNet WebAssistを使う場合は、この章をご覧になりネットワークI/FにIPアドレスを設定してください。IPアドレスの設定はEpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssistまたはARP/PINGコマンドで行います。

次のケースに該当する方は、本章にある設定を行ってください。

- EpsonNet WebAssist（ネットワークI/Fに組み込まれているユーティリティ）を使用する
- NetWare5JでNDPSのリモート（IP上でLPR）印刷をする
- Windows95/98でEpsonNet Direct Printを使って TCP/IP印刷をする
- WindowsNTでTCP/IP（LPR Port）印刷をする
- OS/2 WarpでTCP/IP（lprportd）印刷をする

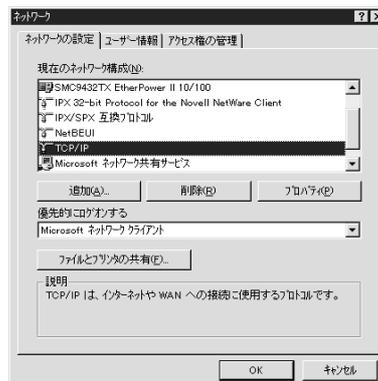
TCP/IPの組み込み

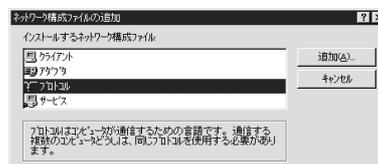
ネットワークI/FにIPアドレスを設定するためには、まずお使いのコンピュータにTCP/IPを組み込みます。

Windows95/98

Windows95の画面で説明します。

1 TCP/IPの確認

[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックし、[ネットワークの設定]画面の[現在のネットワーク構成]に[TCP/IP]があることを確認します。

2 TCP/IPの追加

①[TCP/IP]が組み込まれていない場合は、手順1の画面で 追加 ボタンをクリックして[プロトコル]を選択し、 追加 ボタンをクリックします。

②[ネットワークプロトコルの選択]画面が表示されます。製造元：Microsoft、ネットワークプロトコル：TCP/IPをクリックして追加します。

③追加したTCP/IPをダブルクリックして[TCP/IPのプロパティ]を起動し、IPアドレスなどの必要事項を設定します。設定するIPアドレスについては**「困ったときは」（166ページ）**を参照してください。

IPアドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。

WindowsNT4.0

1 TCP/IP の確認

[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックし、[プロトコル]画面で[TCP/IP プロトコル]が組み込まれていることを確認します。

2 TCP/IP の追加

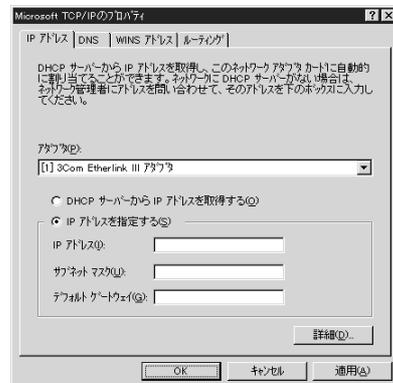
①[TCP/IP プロトコル]が組み込まれていない場合は、手順1の画面で 追加 ボタンをクリックして、[TCP/IP プロトコル]を追加します。画面の指示に従ってください。
また、TCP/IP 印刷を行えるようにする場合は、手順1の画面で[サービス]タブをクリックし、表示される画面で 追加 ボタンをクリックして[Microsoft TCP/IP 印刷]を追加します。画面の指示に従ってください。

②インストールが終了してからネットワーク画面で 閉じる ボタンをクリックすると、[Microsoft TCP/IP のプロパティ]画面が開いて IP アドレスを設定できます。設定する IP アドレスについては**「困ったときは」(166 ページ)**を参照してください。

IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。

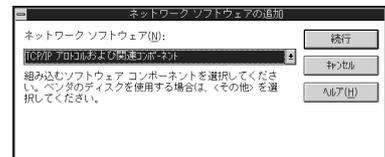
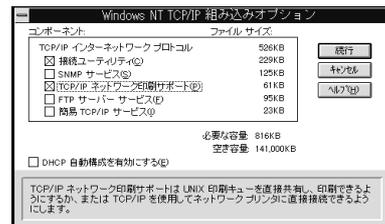
③インストールが完了したら IP アドレスなどの必要な項目が正しく入力されていることを確認します。

TCP/IP の設定

WindowsNT3.51

1 TCP/IPの確認

[メイン]グループの[コントロールパネル]にある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックし、[TCP/IPプロトコル]が組み込まれていることを確認します。

2 TCP/IPの追加

①TCP/IPが組み込まれていない場合は、手順1の画面で ソフトウェアの追加 ボタンをクリックして、[TCP/IPプロトコルおよび関連コンポーネント]を選択します。

②[Windows NT TCP/IP組み込みオプション]画面が表示されるので、[接続ユーティリティ]と[TCP/IPネットワーク印刷サポート]をチェックします。この後は画面の指示に従ってください。

③インストールが終了して、[ネットワークの設定]画面で OK ボタンをクリックすると、[TCP/IPの構成]画面が開きIPアドレスなどの必要事項を設定できます。設定するIPアドレスについては**「困ったときは」(166ページ)**を参照してください。

IPアドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。

④インストールが完了したらIPアドレスなどの必要な項目が正しく入力されていることを確認します。

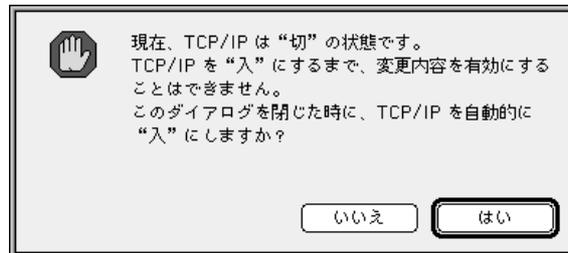
Macintosh（Open Transport 使用）

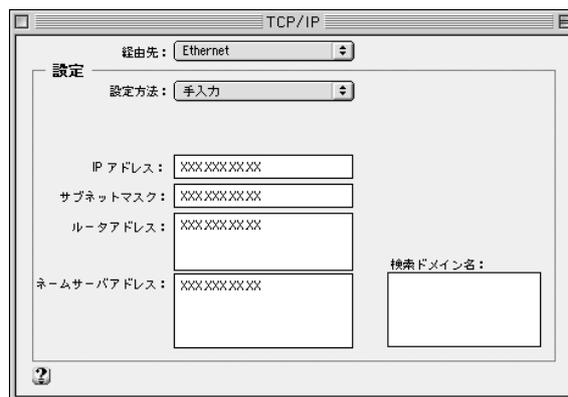
EpsonNet WebAssistを使用する場合、MacintoshにもIPアドレスを設定する必要があります。

1 AppleTalkの経由先確認

コントロールパネルで[AppleTalk]アイコンをダブルクリックし、経由先が[Ethernet]に設定されていることを確認します。

2 アドレスの設定

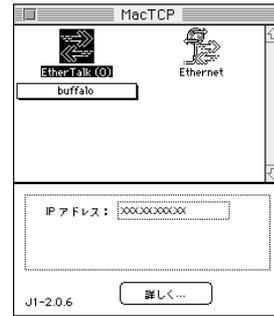
①コントロールパネルの[TCP/IP]をダブルクリックします。このとき次の画面が表示されたら、はい ボタンをクリックしてください。

② IPアドレスなどの必要事項を設定します。
設定するIPアドレスについては、**「困ったときは」（166ページ）**を参照してください。

IPアドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。

Macintosh（旧ネットワークソフト使用）

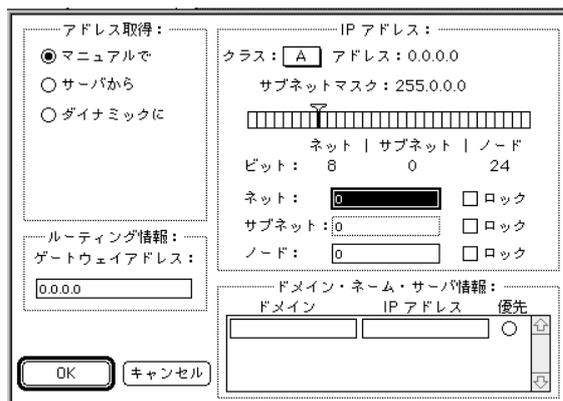
1 Ethernet の確認

コントロールパネルの[ネットワーク]を起動して、[EtherTalk]を選択します。

2 IP アドレスの確認

コントロールパネルで[MacTCP]アイコンをダブルクリックし、IP アドレスが設定されていることを確認します。

3 アドレスの設定

IPアドレスが設定されていない場合は、詳しく... ボタンをクリックして次の画面で必要事項を設定してから、手順2の画面で IP アドレスを設定してください。設定する IP アドレスについては、**「困ったときは」（166 ページ）**を参照してください。

IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。

IP アドレスの設定 / 変更

コンピュータに TCP/IP を組み込んだら、次にネットワーク I/F に IP アドレスを設定します。次の 3 つの方法があります。

- プリンタの操作パネルから
- EpsonNet WinAssist/MacAssist から
- ARP/PING コマンドから

EpsonNet WebAssist は、上記の方法で設定したネットワーク I/F の IP アドレスを変更するときに使用できます。

- **本ネットワーク I/F の IP アドレスは、初期値に[192.168.192.168]というプライベートアドレスが設定されています。**
  使用環境によっては、IP アドレスがこの値と重複する場合があります。その場合は、重複している機器の電源をオフにした状態で、ネットワーク I/F の IP アドレスを変更してください。
  ネットワーク I/F の IP アドレスを変更するときは、必ずネットワーク管理者に確認してください。
- **OS/2 では EpsonNet WinAssist が使えません。OS/2 で IP アドレスを設定する場合は、プリンタの操作パネルまたは ARP/PING コマンド（31 ページ）を使用してください。**

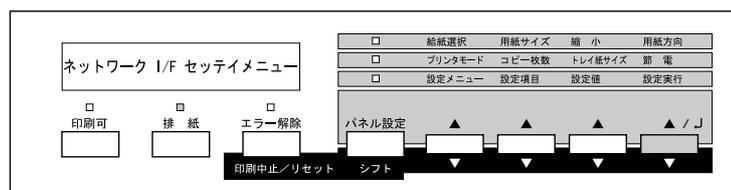
プリンタの操作パネルから

プリンタの操作パネルから設定する場合の手順を説明します。スイッチの機能については**「スイッチの機能」（7 ページ）**をご覧ください。

1 プリンタの起動

プリンタの電源をオンにして、操作パネルの液晶ディスプレイに[インサツカノウ]と表示されるまで待ちます。

2 設定メニューの表示

液晶ディスプレイに[ネットワーク I/F セッテイメニュー]と表示されるまで、[設定メニュー]を押します。

3 IP アドレスの取得方法の選択

①[設定項目]スイッチを１回押すと、[ネットワークセッテイ＝シナイ]と表示されます。[設定値]スイッチを押して、[ネットワークセッテイ＝スル]を選択し、[設定実行]スイッチを押して確定します。

ここで[シナイ]を選択した場合、次の手順にある[IP アドレスセッテイ]が表示されませんので、ここでは必ず[スル]を選択し、次の手順へ進みます。

②[設定項目]スイッチを１回押して、液晶ディスプレイに[IP アドレスセッテイ＝パネル]と表示されることを確認します。
[パネル]と表示されている場合、手順４へ進みます。
[パネル]以外の内容が表示される場合、操作パネルからの IP アドレス設定は無効になります。次の③に従って、設定を変更します。

③[設定値]スイッチを押して、液晶ディスプレイに[パネル]と表示されたら、[設定実行]スイッチを押します。

このとき、液晶ディスプレイの表示は[パネル][ジドウ][PING]の順番で切り替わります。それぞれ次の意味を持っています。

メニュー	意味
パネル	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの値として、操作パネルで設定した値を使用する。
ジドウ	ネットワーク上にある DHCP サーバから IP アドレスを自動取得する。取得した値は、プリンタのリセットまたは電源オフの後、起動のたびにネットワークから取得する。
PING	ネットワークから、ARP コマンド、PING コマンドで設定した IP アドレスの値を使用する。設定した値は、プリンタのリセットまたは電源のオフ/オンを行うと有効になる。

- **[ジドウ]を使用するには、DHCP サーバが必要です。サーバのない環境では使用しないでください。また、設定に関してはサーバの取扱説明書をご覧ください。**
- **[PING]は、PING コマンドから IP アドレスを設定する場合のみ、選択してください。**

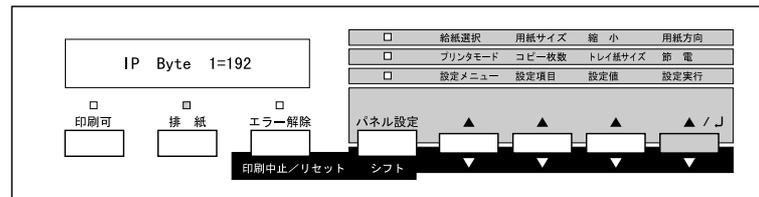
4 各アドレスの設定

[設定項目]スイッチを１回押すと、液晶ディスプレイに[IP Byte 1]と表示されます。これは、現在の設定項目が IP アドレスの１バイト目であることを示します。
[設定項目]スイッチを押して設定項目を切り替え、各アドレスを設定してください。

表示される項目	各項目の意味
IP Byte 1/2/3/4	IP アドレスの 1/2/3/4 バイト目を設定します。
SM Byte 1/2/3/4	サブネットマスクの 1/2/3/4 バイト目を設定します。
GW Byte 1/2/3/4	ゲートウェイアドレスの 1/2/3/4 バイト目を設定します。

[設定値]スイッチを押して、アドレスを設定します。
[シフト]スイッチを押しながら[設定値]スイッチを押すと、設定値の表示が逆戻りになります。また、どちらの場合も、スイッチを押し続けることで、値を早く切りかえることができます。

例）IPアドレス192.168.100.201を設定する場合

①パネルに[IP Byte 1=0]と表示されたら、[192]が表示されるまで[設定値]スイッチを押します。

②[設定実行]スイッチを押して[192]を確定します。

③[設定項目]スイッチを押して[IP Byte 2]をパネルに表示させ、[設定値]スイッチを押して[168]を設定します。

④[設定実行]スイッチを押して[168]を確定します。

⑤残りの[100][201]も同様に確定します。

プリンタの操作パネルの詳細については「ユーザーズガイド」をご覧ください。

5 設定の保存

設定した値は、プリンタの電源のオフ / オンを行うと有効になります。

6 ネットワークステータスシートの印刷

ネットワークステータスシートに、ネットワークI/Fに設定したIPアドレスが印刷されます。ここでIPアドレスが正しく設定できたことを確認します。

これで、ネットワークI/FへのIPアドレスの設定は終了です。この後は、次の章を参照して、お使いの環境にあった設定をしてください。

・ Windows95/98印刷 **「5 Windows95/98 印刷」**
・ WindowsNT4.0印刷 **「6 WindowsNT4.0 印刷」**
・ AppleTalk印刷 **「7 AppleTalk 印刷」**
・ NetWare印刷 **「8 NetWare 印刷」**
・ OS/2印刷 **「9 OS/2 印刷」**

EpsonNet WinAssist/MacAssistから

EpsonNet WinAssist/MacAssistからIPアドレスを設定する場合の手順を説明します。
ここでは、Windowsの画面を例に説明します。

1 プロトコルの確認

Windows95/98/NTをお使いの場合は、TCP/IPが組み込まれていることを確認します。
Macintoshをお使いの場合は、AppleTalk が組み込まれていることを確認します。

2 プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

3 EpsonNet WinAssist/MacAssistの起動

①Windows95/98/NT4.0は、[スタート]メニューのプログラム[EpsonNet WinAssist]をクリックして起動します。
WindowsNT3.51は、[EpsonNet WinAssist（共通)]グループの[EpsonNet WinAssist]アイコンをダブルクリックして起動します。
Macintoshは、[EpsonNet MacAssist]のアイコンをダブルクリックして起動します。

②リスト画面で、設定するプリンタを選択して 設定開始 ボタンをクリックします。

- **設定するネットワークI/Fは、MACアドレスで区別します。MACアドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール]メニューの[探索オプション]（128、129ページ）で設定すると、表示されます。**
- **IPアドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者に値を確認してください。**

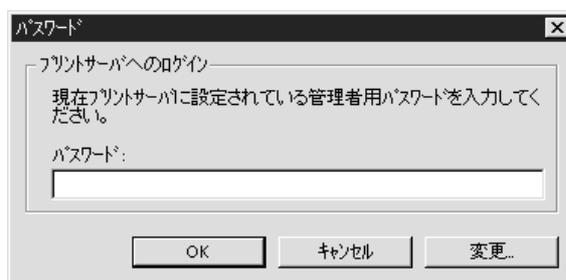
4 TCP/IP の設定

[TCP/IP]タブをクリックして、各項目を設定します。

設定項目	設定内容
IPアドレスの 取得方法	IP アドレスの取得方法を、自動/手動から選択します。[自動]を選択すると、DHCPが有効になります。 [手動]を選択したら、下の[IP アドレス]でアドレスを設定します。 **DHCPを使用するにはDHCPサーバが必要です。サーバのない環境では使用できません。また、設定に関してはサーバの取扱説明書をご覧ください。** EpsonNet WebAssistを使用する場合は、ネットワークI/FのIPアドレスがURLになります。
PINGによる設定	ここでの設定はできません。 ネットワークI/FのIPアドレスをpingコマンドから設定する場合は、操作パネルの[IP アドレスセッテイ]で[PING]を選択してから、pingでの設定を行ってください。
IPアドレス	ネットワークI/FのIPアドレスを入力します。 **ほかのネットワーク機器や、コンピュータですでに使用されているIPアドレスと重複しないようにしてください。** 設定するアドレスは、**「困ったときは」(166 ページ)**を参照してください。 初期値は[192.168.192.168]です。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 初期値は[255.255.255.0]です。
デフォルト ゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバやルータがある場合は、サーバやルータの IP アドレスを入力します。 初期値は[255.255.255.255]です。ルータがない場合は、初期値のままにしてください。

5 設定の保存

① OK ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワークI/Fに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、変更 ボタンをクリックしてください。詳しくは「パスワードについて」（130、138ページ）を参照してください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

②その後、設定が有効になるまで最大3分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3分ほどしたら、[表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックして、設定値を確認してください。

6 ネットワークステータスシートの印刷

ネットワークステータスシートに、ネットワークI/Fに設定したIPアドレスが印刷されます。ここでIPアドレスが正しく設定できたことを確認します。

設定値を確認する場合は、[表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックしてください。

これで、ネットワークI/FへのIPアドレスの設定は終了です。この後は、次の章を参照して、お使いの環境にあった設定をしてください。

- Windows95/98印刷　**「5 Windows95/98印刷」**
- WindowsNT4.0印刷　**「6 WindowsNT4.0印刷」**
- AppleTalk印刷　**「7 AppleTalk印刷」**
- NetWare印刷　**「8 NetWare印刷」**
- OS/2印刷　**「9 OS/2印刷」**

ARP/PINGコマンドから

ネットワークI/FのIPアドレスを、ARP/PINGコマンドから設定する方法を説明します。OS/2をお使いの場合はEpsonNet WinAssistが使用できませんので、ARP/PINGコマンドでネットワークI/FにIPアドレスを設定します。
このコマンドは、Windows95/98/NTにTCP/IPが正常に組み込まれ、設定されている場合に使用できます。
この方法は、ネットワークI/Fと同じセグメント内のホストでのみ使用できます。

次の操作の前に、操作パネルの[IPアドレスセッテイ]で[PING]が選択されていることを確認してください。[PING]が選択されていない場合は、ARP/PINGコマンドからのIPアドレス設定ができません。

ここでは、ネットワークI/FのIPアドレスを192.168.100.201（プライベートアドレス）に設定する場合の設定例を説明します。

1 デフォルトゲートウェイアドレスの設定

「TCP/IPの組み込み」（20ページ）の説明を参照して、ARP/PINGコマンドからの設定に使うコンピュータに、ゲートウェイアドレスを設定します。

・ゲートウェイになるサーバやルータがある場合、そのサーバやルータのアドレスを入力します。

・ゲートウェイがない場合は自分自身のコンピュータのIPアドレスをゲートウェイアドレスに入力します。

2 プリンタとMS-DOSプロンプトの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにし、コンピュータで[MS-DOSプロンプト]を起動します。

3 最寄りのコンピュータへのpingコマンド実行

最寄りの動作中コンピュータ、またはルータやゲートウェイがあればそれらに対してpingコマンドを実行します。**設定に使用しているコンピュータ以外の機器に対して、pingコマンドを実行してください。**

書式）ping_最寄りのコンピュータなどのIPアドレス（_は半角スペース）

例）　IPアドレス192.168.100.101のコンピュータがある場合
C:\>ping_192.168.100.101

pingコマンドが成功すると、「Reply from 192.168.100.101: bytes=32 time<10ms TTL=255」というメッセージが表示されます(timeなどの値は変動します)。

TCP/IPの設定

4　arp コマンド実行

arp コマンドを実行して、ネットワーク I/F に設定したい IP アドレスを、ネットワーク I/F の MAC アドレスと関連付けます。

- **IP アドレスは、ほかのネットワーク機器やコンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。**
- **MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。**

書式）arp_-s_ ネットワーク I/F に設定したい IP アドレス _ ネットワーク I/F の MAC アドレス（_ は半角スペース）

例）　C:\>arp_-s_192.168.100.201_00-00-48-93-00-00

5　ネットワーク I/F への ping コマンド実行

ping コマンドを実行して、ネットワーク I/F の IP アドレスを設定します。

書式）ping_ 手順 4 でネットワーク I/F に設定した IP アドレス（_ は半角スペース）

例）　C:\>ping_192.168.100.201

ping コマンドが成功すると、「Reply from 192.168.100.201: bytes=32 time<10ms TTL=255」というメッセージが表示されます（time などの値は変動します）。
ここで表示された IP アドレスが 192.168.100.201 であることを確認します。

- **ここで「time out」等のメッセージが表示された場合、IP アドレスは正しく登録されていません。手順 3 に戻って、再度設定をしてください。**
- **ping コマンドでは、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイは変更できません。これらを変更する場合は、プリンタの操作パネル、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist のいずれかを使用してください。**

6　ネットワークステータスシートの印刷

ネットワークステータスシートに、ネットワーク I/F に設定した IP アドレスが印刷されます。ここで IP アドレスが正しく設定できたことを確認します。

これで、ネットワーク I/F への IP アドレスの設定は終了です。この後は、次の章を参照して、お使いの環境にあった設定をしてください。

- Windows95/98 印刷　**「5 Windows95/98 印刷」**
- WindowsNT4.0 印刷　**「6 WindowsNT4.0 印刷」**
- AppleTalk 印刷　**「7 AppleTalk 印刷」**
- NetWare 印刷　**「8 NetWare 印刷」**
- OS/2 印刷　**「9 OS/2 印刷」**

EpsonNet WebAssist から

このページは、EpsonNet WebAssist を使ってネットワーク I/F の TCP/IP 情報を変更する場合にのみご覧ください。

ネットワーク I/F の IP アドレスを変更する場合は、EpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssist や ARP/PING コマンドのほかに、EpsonNet WebAssist を使うことができます。

- **お使いのコンピュータに Web ブラウザをインストールしてください。**
- **コンピュータとネットワーク I/F に TCP/IP が正しく設定されていることを確認してください。**
- **EpsonNet WinAssist/MacAssist と EpsonNet WebAssist から、同時に同じネットワーク I/F に対して設定をしないでください。**
- **お使いのブラウザにより、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いのブラウザおよび OS のマニュアルを参照してください。**

1 プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

2 EpsonNet WebAssist の起動

EpsonNet WinAssist/MacAssist から起動する方法と、ブラウザから起動する方法があります。

・EpsonNet WinAssist/MacAssist のリスト画面から、設定するプリンタを選択して [ブラウザの起動] ボタンをクリックします。

・ブラウザを起動してネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。このとき、EpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssist は起動しないでください。

書式）　http:// ネットワーク I/F の IP アドレス /

例）　http://192.168.100.201/

TCP/IP の設定

3 TCP/IP の設定

メニューの[設定]にある[TCP/IP]をクリックして、各項目を設定します。

IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。

設定項目	設定内容
IP アドレスの取得方法	IP アドレスの取得方法を、Panel/Auto から選択します。Auto を選択すると、DHCP が有効になります。ここでアドレスを設定する場合は、Panel を選択してください。**DHCP を使用するには DHCP サーバが必要です。サーバのない環境では使用できません。また、設定に関してはサーバの取扱説明書をご覧ください。**
IP アドレス	ネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。**ほかのネットワーク機器やコンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。**設定するアドレスは、**「困ったときは」（166 ページ）**を参照してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。初期値は[255.255.255.0]です。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバやルータがある場合は、サーバやルータの IP アドレスを入力します。初期値は[255.255.255.255]です。ルータがない場合は、初期値のままにしてください。

4 設定の保存

① 送信 ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定を更新します。
パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist で共通です。パスワードの設定方法は、**「パスワード」（147 ページ）**をご覧ください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

②「設定は正常に更新されました！」というメッセージが表示されたら、更新は終了です。このメッセージが表示されるまで、EpsonNet WebAssist を終了したり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

③その後設定を有効にするため、画面のメッセージに従ってリセットをしてください。

IP アドレスを変更した場合は、ここでリセットすると今回設定した IP アドレスが有効になります。引き続き EpsonNet WebAssist を使う場合は、EpsonNet WebAssist の再起動が必要です。設定した IP アドレスを URL に入力し、EpsonNet WebAssist を再起動してください。

以上で設定は終了です。

5 Windows95/98 印刷

この章では、ネットワークに接続したプリンタを、Windows95/98 で使用する際の設定方法を説明します。

対応するシステムは次のとおりです。

- EpsonNet Direct Print を使っての TCP/IP（LPR）印刷
- Microsoft Windows Network(NetBEUI)
  プリンタ共有による印刷に対応します。

TCP/IP 印刷

Windows95/98 は TCP/IP での LPR 印刷システムを持たないため、標準での TCP/IP 印刷はできませんが、本製品付属のユーティリティ、EpsonNet Direct Print を使ってエプソン製プリンタへの TCP/IP（LPR）直接印刷ができます。

EpsonNet Direct Print について

EpsonNet Direct Print は、Windows95/98 から TCP/IP（LPR）印刷を行うためのソフトウェアです。ソフトウェアをインストールして LPR プリンタを設定することにより、LPR 直接印刷が可能になります。

動作環境

- IBM PC/AT 互換機、NEC 製 PC-9801 シリーズおよびその互換機
- Windows95、Windows98

EpsonNet Direct Print のインストール

まず、EpsonNet Direct Print をインストールします。ネットワークに接続され、TCP/IP が正しく設定されているコンピュータにインストールしてください。TCP/IP の設定については**「4 TCP/IP の設定」**をご覧ください。

1 **インストール画面の起動**

同梱の LP-8200C プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM をドライブにセットします。自動的に[EPSON インストールプログラム]が起動します。

[EPSON インストールプログラム]が自動的に起動しない場合は、マイコンピュータ内の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

2 インストール

①[EpsonNet Direct Printのインストール]を選択して、画面右の 次へ をクリックします。

②この後は、画面の指示に従ってインストールします。

3 Windowsの再起動

インストールが終了したら、コンピュータを再起動します。
コンピュータを再起動すると、LPR直接印刷機能が使えるようになります。続いて次ページを参照し、プリンタを設定してください。

プリンタの設定

LPR印刷を行うプリンタを設定します。設定には、[ネットワークコンピュータ]からと、[プリンタの追加]からの2通りの方法があります。

- **「IPアドレスの設定/変更」（25ページ）を参照して、ネットワークI/FのIPアドレスを設定しておいてください。IPアドレスが未設定および初期値（192.168.192.168）の場合は、[EPSON_LPR]で検索できません。**
- **検索されるLPRプリンタは、同一ネットワーク上にあるもののみです。**
- **ここで作成したプリンタは、Windowsのプリンタフォルダ内でプリンタアイコンをダブルクリックしたときに表示される画面から、印刷の一時停止、印刷の中止、印刷中のジョブ削除をすることはできません。**

ネットワークコンピュータから

1 **EPSONプリンタ画面の起動**

①Windowsの[ネットワークコンピュータ]画面を開きます。
EPSONのLPRネットワークコンピュータのグループアイコン[Epson_lpr]が表示されます。

②[Epson_lpr]画面を開くと、コンピュータと同一セグメントにある、TCP/IPの設定されたEPSONプリンタが、次の形式で表示されます。

ネットワークI/FのIPアドレス（プリンタ名）

2 **プリンタの設定**

①印刷に使うプリンタを選択して、ダブルクリックします。

②プリンタウィザードが起動します。画面の指示に従って、プリンタドライバをインストールします。

[プリンタの追加]から - ルータの外にあるプリンタを追加する場合

EpsonNet Direct Printでは、ルータを超えたプリンタが検索できませんので、ネットワークI/FのIPアドレスを直接指定します。

1 [プリンタの追加]の起動

[マイコンピュータ]の[プリンタ]画面で、[プリンタの追加]をダブルクリックします。

2 プリンタの追加

①[ネットワークプリンタ]を選択します。

②[ネットワークパスまたはキューの名前]で、次のパスを**入力**します。後は、画面の指示に従ってインストールします。

書式）\\Epson_lpr\追加するプリンタのネットワークI/FのIPアドレス

例）　\\EPSON_LPR\163.131.44.200

EpsonNet Direct Print のアンインストール

1 アンインストール画面の起動

[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある、[アプリケーションの追加と削除]画面を開きます。

2 アンインストール

[セットアップと削除]画面で[EpsonNet Direct Print]を選択して、追加と削除ボタンをクリックします。
「'EpsonNet Direct Print'とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」というメッセージが表示されるので、はいをクリックします。

アンインストールが終了したら、コンピュータを再起動してください。

EpsonNet Direct Print と EPSON プリンタウィンドウ!2※をインストールしているコンピュータから、EPSON プリンタウィンドウ!2 をアンインストールした場合、EPSON プリンタウィンドウ!2 のフォルダ（EPSON フォルダ）は残ったままになります。
このフォルダは、LPR プリンタが正常に動作するために必要なフォルダです。削除しないでください。

※ **LP-8200C 以外の EPSON プリンタをご購入された際に、添付されている場合があります。**
LP-8200C には、EPSON プリンタウィンドウ!3 が添付されています。

NetBEUI 印刷

クライアントとプロトコルの組み込み

お使いのコンピュータに、NetBEUIでの印刷に必要なプロトコルをインストールします。

1 Microsoft ネットワーククライアントの組み込み

①[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックして起動し、[ネットワークの設定]画面で 追加 ボタンをクリックします。
[現在のネットワーク構成]に[Microsoft ネットワーククライアント]がある方は追加不要です。

②[クライアント]を選択し、追加 ボタンをクリックして、[Microsoft ネットワーククライアント]を追加します。

2 NetBEUI プロトコルの組み込み

①[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックして起動し、[ネットワークの設定]画面で 追加 ボタンをクリックします。
[現在のネットワーク構成]に[NetBEUI]がある方は追加不要です。

②[プロトコル]を選択し、[NetBEUI]を追加します。

NetBEUIの設定

ネットワークI/FのNetBEUI設定の初期値は次のとおりです。初期値のままでも使用できますが、設定値を変更する場合は、EpsonNet WinAssistまたはEpsonNet WebAssistを使用します。

- NetBIOS名　:EPxxxxxx
- ワークグループ名　:WORKGROUP
- デバイス名　:EPSON

EpsonNet WinAssistから

まず、設定に使うコンピュータにTCP/IP（**「4 TCP/IPの設定」**参照）またはIPXを組み込んで設定します。その後、次の設定をします。

1　プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

2　EpsonNet WinAssistの起動

①[スタート]メニューのプログラム[EpsonNet WinAssist]をクリックして起動します。

②リスト画面で設定するプリンタを選択して、設定開始 ボタンをクリックします。

- **設定するネットワークI/Fは、MACアドレスで区別します。MACアドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。**
- **ネットワークI/FのIPアドレスが工場出荷時の設定の場合、モデル名が表示されないことがあります。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール]メニューの[探索オプション]（128、129ページ）で設定すると、表示されます。**

3 NetBEUI の設定

[NetBEUI]タブをクリックして、各項目を設定します。

設定項目	設定内容
NetBIOS 名	プリンタの NetBIOS 名（Microsoft でネットワーク上のコンピュータ名にあたります）を、半角英数 15 文字以内で入力します。 ネットワーク上にある他のコンピュータ名と重複しないようにしてください。 初期値：EP ネットワーク I/F の MAC アドレスの下 6 桁
ワークグループ名	Windows ネットワーク環境で使用中のワークグループ名またはドメイン名を、半角英数 15 文字以内で入力します。
デバイス名	プリンタのデバイス名を、半角英数 12 文字以内で入力します。 LPT1、LPT2、LPT3、COM などは使用できません。

4 設定の保存

① OK ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワーク I/F に情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、変更 ボタンをクリックしてください。詳しくは「パスワードについて」（130 ページ）を参照してください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

②その後、設定が有効になるまで最大 3 分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3 分ほどしたら、[表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックして、設定値を確認してください。

EpsonNet WebAssistから

- お使いのコンピュータにWebブラウザをインストールしてください。
- コンピュータとネットワークI/FにTCP/IPが正しく設定されていることを確認してください。
- お使いのブラウザにより、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いのブラウザおよびOSのマニュアルを参照してください。

1 プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

2 EpsonNet WebAssistの起動

EpsonNet WinAssistから起動する方法と、ブラウザから起動する方法があります。

・EpsonNet WinAssistのリスト画面から、設定するプリンタを選択して ブラウザの起動 ボタンをクリックします。

・ブラウザを起動してネットワークI/FのIPアドレスを入力します。このとき、EpsonNet WinAssistは起動しないでください。

書式）　http://ネットワークI/FのIPアドレス/

例）　http://192.168.100.201/

3 NetBEUIの設定

メニューの[設定]にある[NetBEUI]をクリックして、各項目を設定します。次ページを参照して設定してください。

設定項目	設定内容
NetBEUI	[Enable]を選択します。
NetBIOS 名	プリンタの NetBIOS 名（Microsoft でネットワーク上のコンピュータ名にあたります）を、半角英数 15 文字以内で入力します。 ネットワーク上にある他のコンピュータ名と重複しないようにしてください。 初期値：EP ネットワーク I/F の MAC アドレスの下 6 桁
ワークグループ名	Windows ネットワーク環境で使用中のワークグループ名、またはドメイン名を、半角英数 15 文字以内で入力します。
デバイス名	プリンタのデバイス名を、半角英数 12 文字以内で入力します。 LPT1、LPT2、LPT3、COM などは使えません。

4

設定の保存

① 送信 ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定を更新します。
パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist で共通です。パスワードの設定方法は**「パスワード」（147 ページ）**をご覧ください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

②「設定は正常に更新されました！」というメッセージが表示されたら、更新は終了です。このメッセージが表示されるまで、EpsonNet WebAssist を終了したり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

③その後設定を有効にするため、画面のメッセージに従ってリセットをしてください。

プリンタの設定（クライアント）

プリンタをクライアントで使用するために、ネットワークに接続したプリンタの設定をします。

1　[プリンタの追加]起動

①[マイコンピュータ]の[プリンタ]ウインドウから［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

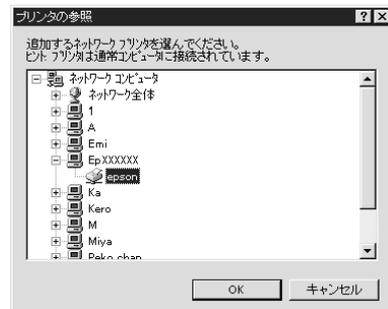
②右の画面で[ネットワークプリンタ]を選択します。

2　プリンタの選択

① 参照 ボタンをクリックします。

②表示されるリストから設定するプリンタを選択して、OK ボタンをクリックします。

③参照できない場合は①の画面に戻って、[ネットワークパスまたはキューの名前]欄に次のように入力します。

\\(ネットワーク I/F の NetBIOS 名)\(ネットワーク I/F のデバイス名)

この後は画面の指示に従って設定してください。

6 WindowsNT4.0 印刷

この章では、ネットワークに接続したプリンタを、WindowsNT4.0で使用する際の設定方法を説明します。

対応するシステムは次のとおりです。

- WindowsNT 4.0
- LPR Port(TCP/IP)
- Microsoft Windows Network(NetBEUI)
  プリンタ共有による印刷に対応します。

TCP/IP 印刷

TCP/IPのLPR Port印刷ができます。

LPR Portでの接続

1 **プリンタの起動**

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

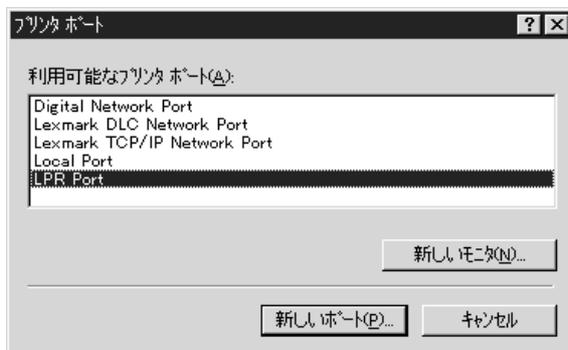
2 **ネットワークサービスの確認**

[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[ネットワーク]をダブルクリックして、[サービス]画面に[Microsoft TCP/IP印刷]があることを確認します。
[Microsoft TCP/IP印刷]がない場合は、 追加 ボタンをクリックして追加します。画面の指示に従ってください。

3 **プリンタをLPR Portで接続**

①[マイコンピュータ]の[プリンタ]ウィンドウで[プリンタの追加]をダブルクリックします。右の画面で[このコンピュータ]を選択し、 次へ ボタンをクリックします。

② ポートの追加 ボタンをクリックします。

③[プリンタポート]画面が表示されるので、[LPR Port]を選択し、新しいポート をクリックします。

[Lexmark TCP/IP Network Port]は使用できません。

④[LPR互換プリンタの追加]画面が表示されます。ネットワークI/FのIPアドレスとプリンタ名を入力し、OK ボタンをクリックします。あとはメッセージに従ってプリンタドライバをインストールしてください。

WindowsNT4.0 印刷

NetBEUI 印刷

NetBEUI プロトコルの組み込み

1 ワークステーションサービスの組み込み

[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックし、[サービス]画面で 追加 ボタンをクリックして[ワークステーション]を追加します。
[ワークステーション]がある場合は追加不要です。

2 NetBEUI プロトコルの組み込み

[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックし、[プロトコル]画面で 追加 ボタンをクリックして[NetBEUI プロトコル]を追加します。
[NetBEUI プロトコル]がある場合は追加不要です。

NetBEUIの設定

ネットワークI/FのNetBEUI設定の初期値は次のとおりです。初期値のままでも使用できますが、設定値を変更する場合は、EpsonNet WinAssistまたはEpsonNet WebAssistを使用します。

- NetBIOS名　　　　:EPxxxxxx
- ワークグループ名　:WORKGROUP
- デバイス名　　　　:EPSON

EpsonNet WinAssistから

まず、設定に使うコンピュータにTCP/IP（**「4 TCP/IPの設定」**参照）またはIPXを組み込んで設定します。その後、次の設定をします。

1 **プリンタの起動**

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

2 **EpsonNet WinAssistの起動**

①[スタート]メニューのプログラム[EpsonNet WinAssist]をクリックして起動します。

②リスト画面で設定するプリンタを選択して、設定開始 ボタンをクリックします。

- **設定するネットワークI/Fは、MACアドレスで区別します。MACアドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。**
- **ネットワークI/FのIPアドレスが工場出荷時の設定の場合、モデル名が表示されないことがあります。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール]メニューの[探索オプション]（128、129ページ）で設定すると、表示されます。**

3 NetBEUIの設定

[NetBEUI]タブをクリックして、各項目を設定します。

設定項目	設定内容
NetBIOS名	プリンタのNetBIOS名（Microsoftでネットワーク上のコンピュータ名にあたります）を、半角英数15文字以内で入力します。 ネットワーク上にある他のコンピュータ名と重複しないようにしてください。 初期値：EP ネットワークI/FのMACアドレスの下6桁
ワークグループ名	Windowsネットワーク環境で使用中のワークグループ名またはドメイン名を、半角英数15文字以内で入力します。
デバイス名	プリンタのデバイス名を、半角英数12文字以内で入力します。 LPT1、LPT2、LPT3、COMなどは使用できません。

4 設定の保存

① [OK] ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワークI/Fに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、[変更] ボタンをクリックしてください。詳しくは「パスワードについて」（130ページ）を参照してください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

②その後、設定が有効になるまで最大3分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3分ほどしたら、[表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックして、設定値を確認してください。

EpsonNet WebAssistから

- **お使いのコンピュータにWebブラウザをインストールしてください。**
- **コンピュータとネットワークI/FにTCP/IPが正しく設定されていることを確認してください。**
- **お使いのブラウザにより、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いのブラウザおよびOSのマニュアルを参照してください。**

1 プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

2 EpsonNet WebAssistの起動

EpsonNet WinAssistから起動する方法と、ブラウザから起動する方法があります。

・EpsonNet WinAssistのリスト画面から、設定するプリンタを選択して ブラウザの起動 ボタンをクリックします。

・ブラウザを起動してネットワークI/FのIPアドレスを入力します。このとき、EpsonNet WinAssistは起動しないでください。

書式）　http://ネットワークI/FのIPアドレス/

例）　http://192.168.100.201/

3 NetBEUIの設定

メニューの[設定]にある[NetBEUI]をクリックして、各項目を設定します。次ページを参照してください。

WindowsNT4.0印刷

設定項目	設定内容
NetBEUI	[Enable]を選択します。
NetBIOS 名	プリンタの NetBIOS 名（Microsoft でネットワーク上のコンピュータ名にあたります）を、半角英数 15 文字以内で入力します。 ネットワーク上にある他のコンピュータ名と重複しないようにしてください。 初期値：EP ネットワーク I/F の MAC アドレスの下 6 桁
ワークグループ名	Windows ネットワーク環境で使用中のワークグループ名、またはドメイン名を、半角英数 15 文字以内で入力します。
デバイス名	プリンタのデバイス名を、半角英数 12 文字以内で入力します。 LPT1、LPT2、LPT3、COM などは使えません。

4 設定の保存

① 送信 ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定を更新します。
パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist で共通です。パスワードの設定方法は**「パスワード」（147 ページ）**をご覧ください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

②「設定は正常に更新されました！」というメッセージが表示されたら、更新は終了です。このメッセージが表示されるまで、Web ブラウザを終了したり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

③その後設定を有効にするため、画面のメッセージに従ってリセットをしてください。

プリンタの設定（クライアント）

プリンタをクライアントで使用するために、ネットワークに接続したプリンタの設定をします。

1 [プリンタの追加]起動

①[マイコンピュータ]の[プリンタ]ウィンドウから、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

②[ネットワークプリンタサーバー]を選択します。

2 プリンタの選択

[共有プリンタ]から、設定するプリンタをクリックします。
参照できない場合は、[プリンタ]欄に次の書式でパスを入力します。
\\(ネットワーク I/F の NetBIOS 名)\(ネットワーク I/F のデバイス名)

この後は画面の指示に従って設定してください。

NET USEコマンド

WindowsNTをサーバとしてNetBEUIを使って接続する場合は、WindowsNTの仕様上、NET USEコマンドを使うことをお薦めします。設定方法は次のとおりです。

1 サービスの確認

[コントロールパネル]の[ネットワーク]で次のサービスが組み込まれていることを確認します。組み込まれていない場合は、追加 ボタンをクリックして追加してください。

- **WindowsNT4.0**
  [サービス]画面で[ワークステーション]または[サーバー]が組み込まれていることを確認します。

2 コマンド実行

コマンドプロンプトを起動して、次のコマンドを実行します。

書式）NET_USE_プリンタポート:_\\ネットワークI/FのNetBIOS名\ネットワークI/Fのデバイス名（_は半角スペース）

例）　LPT1に設定する場合
C:\>NET_USE_LPT1:_\\EPxxxxxx\EPSON

3 プリンタポートの選択（クライアント）

設定したプリンタを使用するためには、プリンタポートを手順2で設定したポートにする必要があります。

- **Windows95/98**
  使用するプリンタの[プロパティ]を開き、[詳細]画面で手順2で設定したポートを選択します。
- **WindowsNT4.0**
  使用するプリンタの[プロパティ]を開き、[ポート]画面で手順2で設定したポートを選択します。

7 AppleTalk印刷

この章では、ネットワークに接続したプリンタをMacintoshで使用する際の設定方法を説明します。MacintoshからはEtherTalkを利用して、Macintoshのネットワークでの印刷環境を設定できます。また、WindowsからもTCP/IP、IPXを利用してMacintoshのネットワーク印刷環境を設定できます。

対応するシステムは次のとおりです。

- Macintosh OS
  漢字Talk7.1/7.5.x
  MacOS 7.6.x/8.x
- EtherTalk Phase II
- EPSONプリンタドライバ

AppleTalkの設定

設定には3通りの方法があります。Macintoshから設定する場合は本ページの**「EpsonNet MacAssistから」**を、Windowsから設定する場合は**「EpsonNet WinAssistから」（63ページ）**をご覧ください。
ネットワークI/FのIPアドレスを設定してある場合は、EpsonNet WebAssistから設定することもできます。

EpsonNet MacAssistから

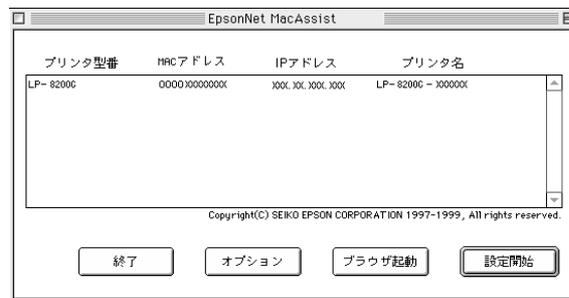
1 **プリンタドライバのインストール**

LP-8200Cのプリンタドライバをインストールします。

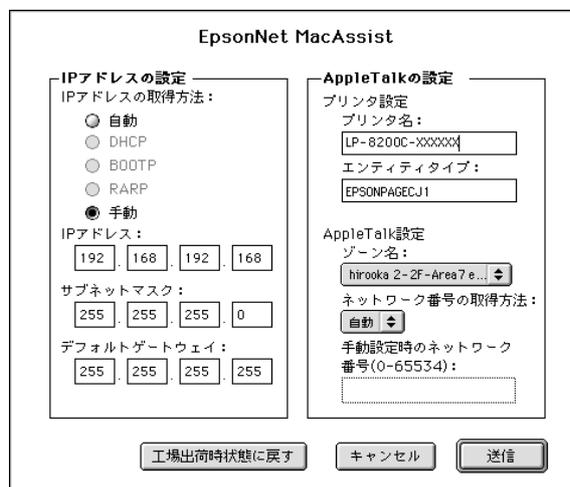
2 **プリンタの起動**

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

3 **EpsonNet MacAssistの起動**

①[EpsonNet MacAssist]アイコンをダブルクリックして起動します。
②リスト画面で、設定するプリンタを選択して 設定開始 ボタンをクリックします。

- **設定するネットワークI/Fは、MACアドレスで区別します。MACアドレスはネットワークステータスシートで確認できます。**
- **お使いのコンピュータのゾーン外にあるプリンタは、[オプション]画面の[ゾーン選択]（137ページ）で設定すると、表示されます。**

4 AppleTalk 設定

[IP アドレスの設定][AppleTalk の設定]画面が表示されますので、各項目を設定します。

[IP アドレスの設定]については、「EpsonNet WinAssist/MacAssist から」（28 ページ）をご覧ください。

設定項目	設定内容
AppleTalk の設定	
プリンタ設定	
プリンタ名	プリンタ名を半角英数 32 文字以内で入力します。 初期値:プリンタ名-ネットワーク I/F のシリアル番号の下 6 桁
エンティティタイプ	プリンタのエンティティタイプを表示します。
AppleTalk 設定	
ゾーン名	ゾーン名を選択します。
ネットワーク番号の取得方法	ネットワーク番号の取得方法を選択します。通常は[自動]を選択します。
手動設定時のネットワーク番号	上の欄で[手動]を選択した場合に、0～65534 の番号を入力します。

5 設定の保存

① 送信 ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正しく行われました。」と表示されるまではネットワークI/Fに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、変更 ボタンをクリックしてください。詳しくは「パスワードについて」（138ページ）を参照してください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

②その後、設定が有効になるまで最大3分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。

この後、設定したプリンタをリスト画面に表示させる場合は、EpsonNet MacAssistを再起動してください。

EpsonNet WinAssistから

LP-8200CをWindowsで管理している場合は、WindowsからEpsonNet WinAssistを使って設定します。

1 プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

2 EpsonNet WinAssistの起動

①Windows95/98/NT4.0は、[スタート]メニューのプログラム[EpsonNet WinAssist]をクリックして起動します。
WindowsNT3.51は、[EpsonNet WinAssist（共通)]グループの[EpsonNet WinAssist]アイコンをダブルクリックして起動します。

②リスト画面で設定するプリンタを選択して、設定開始ボタンをクリックします。

- 設定するネットワークI/Fは、MACアドレスで区別します。MACアドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。
- ネットワークI/FのIPアドレスが工場出荷時の設定の場合、モデル名が表示されないことがあります。
- ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール]メニューの[探索オプション]（128、129ページ）で設定すると、表示されます。

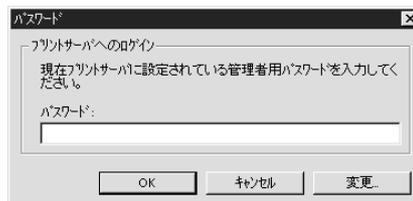
3 AppleTalkの設定

[AppleTalk]タブをクリックして、AppleTalkを設定します。

設定項目	設定内容
プリンタ名	プリンタ名を半角英数32文字以内で入力します。 初期値:プリンタ名-ネットワークI/Fのシリアル番号の下6桁
ゾーン名	[ネットワーク番号の取得方法]で[自動]を選択した場合、*を入力すると自動的に設定されます。
エンティティタイプ	プリンタのエンティティタイプを表示します。
エンティティタイプの設定	ここでの設定は不要です。
ネットワーク番号の取得方法	ネットワーク番号の取得方法を選択します。通常は[自動]を選択します。
手動設定時のネットワーク番号	上の欄で[手動]を選択した場合に、0～65534の番号を入力します。

4 設定の保存

① OK ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワークI/Fに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、変更 ボタンをクリックしてください。詳しくは「パスワードについて」(130ページ)を参照してください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

②その後、設定が有効になるまで最大3分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3分ほどしたら、[表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックして、設定値を確認してください。

EpsonNet WebAssist から

ネットワーク I/F に IP アドレスを設定してある場合は、EpsonNet WebAssist から設定できます。

- **お使いのコンピュータに Web ブラウザをインストールしてください。**
- **コンピュータとネットワーク I/F に TCP/IP が正しく設定されていることを確認してください。**
- **EpsonNet MacAssist/WinAssist と EpsonNet WebAssist から、同時に同じネットワーク I/F に対して設定をしないでください。**
- **お使いのブラウザにより、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いのブラウザおよび OS のマニュアルを参照してください。**

1 プリンタの起動

LP-8200C の電源をオンにします。

2 EpsonNet WebAssist の起動

EpsonNet WinAssist/MacAssist から起動する方法と、ブラウザから起動する方法があります。

・EpsonNet WinAssist/MacAssist のリスト画面から、設定するプリンタを選択して [ブラウザの起動] ボタンをクリックします。

・ブラウザを起動してネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。このとき、EpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssist は起動しないでください。

書式）　http:// ネットワーク I/F の IP アドレス /

例）　http://192.168.100.201/

3 AppleTalkの設定

メニューの[設定]にある[AppleTalk]をクリックして、各項目を設定します。

設定項目	設定内容
AppleTalk	[Enable]を選択します。
プリンタ名	プリンタ名を半角英数32文字以内で入力します。 初期値：プリンタ名-ネットワークI/FのMACアドレスの下6桁
エンティティタイプ	エンティティタイプを表示します。
ゾーン名	[ネットワーク番号設定]で[Auto]を選択した場合、*を入力すると自動的に設定されます。
ネットワーク番号設定	ネットワーク番号の取得方法を選択します。通常は[Auto]を選択します。
Manual 設定時のネットワーク番号	上の欄で[Manual]を選択した場合に、0 から 65534 の値を入力します。

4 設定の保存

① 送信 ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定を更新します。
パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssistで共通です。パスワードの設定方法は**「パスワード」（147ページ）**をご覧ください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

②「設定は正常に更新されました！」というメッセージが表示されたら、更新は終了です。このメッセージが表示されるまで、Webブラウザを終了したり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

③その後設定を有効にするため、画面のメッセージに従ってリセットをしてください。

以上で設定は終了です。

8 NetWare 印刷

この章では、ネットワークに接続したプリンタをNetWareで使用する際の設定方法を説明します。

対応するシステムは次のとおりです。

サーバ環境

- NetWare3.1J/3.11J/3.12J/3.2J
- NetWare4.1J/4.11J(NDS/ バインダリエミュレーション)
- IntranetWare-J(NDS/ バインダリエミュレーション)
- NetWare5J（NDS/ キューベースプリントシステム /NDPS）

クライアント環境

- NetWareがサポートしているクライアント環境
- ネットワークに接続したプリンタのプリンタドライバが使えること

使用上の注意

モードについて

ネットワークI/Fにはプリントサーバモードとリモートプリンタモード、待機モードがあり、使用するモードは任意に設定できます。通常はプリントサーバモードをお薦めします。NetWareファイルサーバのユーザ数に余裕がなければリモートプリンタモードでお使いください。

プリントサーバモード(NDS/Bindery Print Server)

特徴

- 8台までのファイルサーバを同時接続可能
- 直接印刷を制御するので印字速度が速い
- NetWareのユーザアカウントを使用する
- プリントキューは最大32ジョブまで登録可能

リモートプリンタモード(Remote Printer)

特徴

- NetWareのユーザアカウントを使用しない
- リモートプリンタを制御するプリントサーバが必要
- プリンタの接続は、NetWare3.xJで最大16台、NetWare4.1xJ、IntranetWare-J、NetWare5Jでは最大255台まで可能

リモートプリンタモードでは、プリンタの電源を入れたときに一時的にユーザアカウントを使用します。ユーザアカウントに余裕がない場合は、クライアントがファイルサーバにログインする前にプリンタの電源をオンにしてください。

待機モード（Standby）

工場出荷時はこのモードです。本モードではNetWareの機能は動作しませんが、SAP/RIP等の一部プロトコルがネットワーク上に流れる場合があります。

使用上の注意

テキストファイルの印刷での注意

NetWareのNPRINTコマンドやDOSのリダイレクションを利用してテキストファイルを印刷する場合、クライアントの環境によっては文字化けやキャラクタずれの起きる可能性があります。

PCONSOLEでの制限

プリントサーバモードで使用する場合、PCONSOLEのプリントサーバ状況表示制御のサービスは使用できません。

IPXルーティングプロトコル“NLSP”での注意点

NetWare4.1xJ以降はIPXルーティングプロトコル“NLSP”を設定できますが、本ネットワークI/Fは“NLSP”に対応していません。RIP/SAPにより通信を制御しています。
ルーティングプロトコルの選択肢には ①NLSPとRIP/SAP②RIP/SAP専用がありますが、“NLSPとRIP/SAP”が指定されている状態で、任意にRIP、SAPのバインドをはずした場合、ネットワークI/Fはファイルサーバや NDSとの通信ができなくなりますので、ご注意ください（参照：ユーティリティ INETCFGの、“プロトコル”および“バインド”タスク内）。

バインダリとNDSに関する注意点

・ バインダリコンテキスト・パスは、サーバコンソールからSET BINDERY CONTEXTコマンドで確認できます。
・ バインダリコンテキスト・パスが設定されていない場合や、NDS非対応のクライアントから、別のコンテキストの印刷環境も使用したい場合には、そのコンテキストをバインダリコンテキストに指定する必要があります。AUTOEXEC.NCFファイル内に、SET BINDERY CONTEXTコマンドで設定します。
・ 以下のNovellクライアントサービスをご使用の場合、EpsonNet WinAssistからのバインダリプリントサーバモードの設定はできません。バインダリモードでの設定を行う場合にはNovell IntranetWare Clientをお使いいただくか、EpsonNet WebAssistで設定を行ってください。
Novell Client for Windows95/98 Version 3.00
Novell Client for WindowsNT Version 4.50

詳しくはNetWare4.1xJ/5Jのマニュアルをご覧ください。

NDSコンテキストの表示・印刷

NDSコンテキストについて、ネットワークステータスシートとEpsonNet WebAssistでは、ASCII文字のみを正しく表示できます。NDSコンテキストを2バイト文字で設定した場合は、正常に表示されません。
正しく表示させるには、EpsonNet WinAssistまたはEpsonNet WebAssistからASCII文字で入力、設定してください。

ネットワークI/F情報取得時間について

ネットワークに接続したプリンタの電源を投入してから、NetWareサーバに認識されるまで最大2分の時間がかかります。その間、ネットワークステータスシートには正しい情報が反映しませんので、ご注意ください。

フレームタイプについて

IPXをバインドするフレームタイプは、同一ネットワーク内にあるすべてのNetWareサーバ、IPXルータで統一する必要があります。
複数のフレームタイプを同一ネットワークでお使いの場合、すべてのNetWareサーバ、IPXルータにそれらをバインドしてください。

NetWare5Jを使用する場合

NetWare5Jサーバに、IPXプロトコルをインストール（バインド）しておいてください。

動作モードが異なる場合の注意点

ネットワークI/Fに設定されているモードと異なるモードでログインし、EpsonNet WinAssistでNetWareの設定を行おうとすると、メッセージが表示されます。現在の設定を変更したくない場合は、キャンセル をクリックして、ネットワークI/Fに設定されているモードでログインし直してください。

バインダリプリントサーバ印刷（NetWare3.xJ/4.1xJ）

NetWare3.xJ/4.1xJ/IntranetWare-J のプリントサーバモード（バインダリエミュレーション）でネットワーク I/F をお使いになる場合の設定方法を説明します。

ネットワーク I/F の設定

ネットワークに接続したプリンタの設定は、EpsonNet WinAssist から行います。

設定を行うコンピュータに、Client32 または IntranetWare Client をインストールしておいてください。次のクライアントは使用しないでください。
Novell Client for Windows95/98 Version3.00
Novell Client for WindowsNT Version4.50

1 NetWare サーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定する NetWare サーバに、クライアントから SUPERVISOR と同等の権限をもつユーザ（バインダリ接続）でログインします。
NetWare4.1xJ/IntranetWare-J の場合は、バインダリログインのオプションを選択してログインしてください。

2 EpsonNet WinAssist の起動

①[スタート]メニューのプログラム[EpsonNet WinAssist]をクリックして起動します。

②リスト画面の IPX グループに表示されるプリンタから、設定するプリンタを選択して 設定開始 ボタンをクリックします。

NetWare 印刷

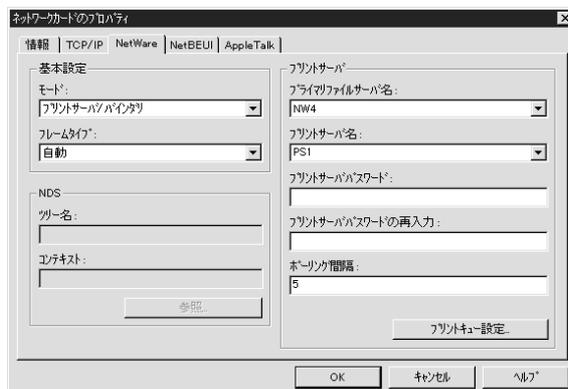
- 設定するネットワークI/Fは、MACアドレスで区別します。MACアドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。
- IPアドレスが工場出荷時の設定の場合、モデル名が表示されないことがあります。
- IPXグループにプリンタが表示されない場合は、プリンタの電源がオンになっているか、コンピュータと同一セグメントにプリンタがあるかを確認してください。
- ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール]メニューの[探索オプション]（129ページ）で設定すると、表示されます。

3 NetWare設定画面の表示

[NetWare]タブをクリックして、ネットワークI/FのNetWare情報を設定します。

現在ログインしているNetWareの環境とネットワークI/Fに設定してあるNetWare環境が一致しないときは、メッセージが表示されます。メッセージをよくお読みになり、次の操作に移ってください。

4 基本設定とプリントサーバ設定

画面の右半分は、[モード]で[プリントサーバ/バインダリ]を選択すると表示されます。

設定項目	設定内容
基本設定	
モード	動作モードを選択します。[プリントサーバ/バインダリ]を選択してください。
フレームタイプ	使用するフレームタイプを選択します。 **自動を選択してください。自動以外を選択すると、設定エラーになります。**
NDS	
ツリー名	設定は不要です。
コンテキスト	設定は不要です。
プリントサーバ	
プライマリ ファイルサーバ名	プリントサーバがログインするファイルサーバを選択します。
プリントサーバ名	プリントサーバを選択します。新規に作成する場合は、名前を半角英数 47 文字以内で入力します。
プリントサーバ パスワード	通常は設定不要です。 ネットワーク I/F がプリントサーバへログインするためのパスワードを、半角英数 20 文字以内で入力します。 詳しくは、NetWare のマニュアルをご覧ください。
プリントサーバパスワードの再入力	パスワードを再入力します。
ポーリング間隔	通常は設定不要です。 ポーリング間隔を 5～90 秒の間で設定します。 詳しくは、NetWare のマニュアルをご覧ください。
プリントキュー設定	キューの設定をします。次のページを参照してください。 **PCONSOLE や NWADMIN、旧ユーティリティ（EPSON Net!2 for Windows/Intranet）ですでにキューを割り当ててある場合も、ここで再度、キューの割り当てをしてください。**

5 プリントキュー設定

ネットワークI/Fへ割り当てるキューの選択や作成ができます。設定を行い、OK をクリックします。

設定項目	設定内容	
キュー名	ネットワーク I/F へ割り当てるプリントキュー名を表示します。	
参照	割り当てるキューの選択や、キューの作成ができます。クリックすると、ログインしているファイルサーバ以下をすべて表示します。	
	キューの選択	プリントキューを選択して OK をクリックします。
	キューの新規作成	キューを作成するファイルサーバをクリックしてマウスの右ボタンをクリックし、[キューの作成]を選択します。 [キュー名]は半角英数 47 文字以内で入力します。
	キューの削除	プリントキューをクリックしてマウスの右ボタンをクリックし、[キューの削除]を選択します。
キュー一覧	プリントサーバへ割り当てられているキューの一覧を表示します。	
追加	割り当てるキューを追加します。参照 で割り当てるキューを選択し、このボタンをクリックします。	
削除	キューの割り当てを解除します。キュー一覧でキューを選択し、このボタンをクリックします。	

6 設定の保存

① OK ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワークI/Fに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、変更 ボタンをクリックしてください。詳しくは「パスワードについて」（130ページ）を参照してください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

②その後、設定が有効になるまで最大3分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3分ほどしたら、[表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックして、設定値を確認してください。

EpsonNet WinAssistで設定を保存すると、プリンタオブジェクトは[PRO]の名前で自動的に作成されます。
プリンタ名を変更する場合は、NetWareのユーティリティPCONSOLEまたはNWADMINから行ってください。

NDSプリントサーバ印刷（NetWare4.1xJ/5J）

NetWare4.1xJ/5J/IntranetWare-Jのプリントサーバモード（NDS）環境でネットワークI/Fをお使いになる場合の設定方法を説明します。

ネットワークI/Fの設定

ネットワークに接続したプリンタの設定は、EpsonNet WinAssistから行います。

設定を行うコンピュータに、Client 32、IntranetWare Client、Novell Clientのいずれかをインストールしておいてください。

1 NetWareサーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定するツリーに、クライアントから目的のコンテキストに対してADMIN権限のあるユーザでログインします。

2 EpsonNet WinAssistの起動

①[スタート]メニューのプログラム[EpsonNet WinAssist]をクリックして起動します。

②リスト画面のIPXグループに表示されるプリンタから、設定するプリンタを選択して 設定開始 ボタンをクリックします。

- **設定するネットワークI/Fは、MACアドレスで区別します。MACアドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。**
- **IPアドレスが工場出荷時の設定の場合、モデル名が表示されないことがあります。**
- **IPXグループにプリンタが表示されない場合は、プリンタの電源がオンになっているか、コンピュータと同一セグメントにプリンタがあるかを確認してください。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール]メニューの[探索オプション]（129ページ）で設定すると、表示されます。**

3 NetWare 設定画面の表示

[NetWare]タブをクリックして、ネットワーク I/F の NetWare 情報を設定します。

現在ログインしている NetWare の環境とネットワーク I/F に設定してある NetWare 環境が一致しないときは、メッセージが表示されます。メッセージをよくお読みになり、次の操作に移ってください。

4 基本設定とプリントサーバ設定

画面の右半分は、[モード]で[プリントサーバ /NDS]を選択すると表示されます。画面右の設定については次ページの説明をご覧ください。

設定項目	設定内容
基本設定	
モード	動作モードを選択します。[プリントサーバ/NDS]を選択してください。
フレームタイプ	使用するフレームタイプを選択します。 **自動を選択してください。自動以外を選択すると、設定エラーになります。**
NDS **・参照 でプリントサーバのコンテキストを選択します。画面右でプリントサーバの設定をする前に、必ずこの欄を設定してください。** **・EpsonNet WinAssist を使用するコンピュータに Novell クライアントサービスがインストールされていないと、ここでの設定はできません。** **・[ツリー名]と[コンテキスト]に設定できる文字数や文字種の制限についての詳細は、NetWare のマニュアルを参照してください。**	
ツリー名	参照 ボタンをクリックして、NDS ツリーを選択します。
コンテキスト	参照 ボタンをクリックして、NDS コンテキストを選択します。

設定項目	設定内容
プリントサーバ	
プライマリ ファイルサーバ名	この欄の設定は不要です。
プリントサーバ名	NDS 欄で指定したコンテキストに所属するプリントサーバがリスト表示されますので、プリントサーバを選択します。新規に作成する場合は、半角英数 47 文字以内で名前を入力します。
プリントサーバ パスワード	通常は設定不要です。 ネットワーク I/F がプリントサーバへログインするためのパスワードを、半角英数 20 文字以内で入力します。 詳しくは、NetWare のマニュアルをご覧ください。
プリントサーバパスワードの再入力	パスワードを再入力します。
ポーリング間隔	通常は設定不要です。 ポーリング間隔を 5～90 秒の間で設定します。 詳しくは、NetWare のマニュアルをご覧ください。
プリントキュー設定	キューの設定をします。次のページを参照してください。 **PCONSOLE や NWADMIN、旧ユーティリティ（EPSON Net!2 for Windows/Intranet）ですでにキューを割り当ててある場合も、ここで再度、キューの割り当てをしてください。**

5 プリントキュー設定

ネットワーク I/F へ割り当てるキューの選択や作成ができます。設定を行い、OK をクリックします。

ここでは、[コンテキスト]欄で設定したコンテキストより上のコンテキストに対しても、キューを設定できます。その場合は、キューを設定したコンテキストに対して管理者の権限を持っている必要があります。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">設定内容</th></tr>
<tr><td>キュー名</td><td colspan="2">ネットワーク I/F へ割り当てるキューを、[プリントキュー.部門名.組織名]の書式で表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">参照</td><td colspan="2">割り当てるキューの選択や、キューの作成ができます。クリックすると、NDS 欄で設定したツリー以下を表示します。</td></tr>
<tr><td>キューの選択</td><td>プリントキューを選択して OK をクリックします。</td></tr>
<tr><td>キューの新規作成</td><td>キューを作成するコンテキストをクリックしてマウスの右ボタンをクリックし、[キューの作成]を選択します。
[キュー名]は半角英数 47 文字以内で入力します。[キュー作成サーバ]はキューを作成するサーバを選択します。
キューは、ファイルサーバの SYS ボリューム下に作成されます。キューを SYS ボリューム以外のボリュームに作成したいときは、PCONSOLE または NWADMIN から作成してください。</td></tr>
<tr><td>キューの削除</td><td>プリントキューをクリックしてマウスの右ボタンをクリックし、[キューの削除]を選択します。</td></tr>
<tr><td>キュー一覧</td><td colspan="2">プリントサーバへ割り当てられているキューの一覧を表示します。</td></tr>
<tr><td>追加</td><td colspan="2">割り当てるキューを追加します。参照 で割り当てるキューを選択し、このボタンをクリックします。</td></tr>
<tr><td>削除</td><td colspan="2">キューの割り当てを解除します。キュー一覧でキューを選択し、このボタンをクリックします。</td></tr>
</table>

6

設定の保存

① OK ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワークI/Fに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、変更 ボタンをクリックしてください。詳しくは「パスワードについて」（130ページ）を参照してください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

②その後、設定が有効になるまで最大3分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3分ほどしたら、[表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックして、設定値を確認してください。

EpsonNet WinAssistでの設定を保存すると、プリンタオブジェクトは次の書式で自動的に作成されます。
プリントサーバ名_P0
プリンタ名を変更する場合は、NetWareのユーティリティPCONSOLEまたはNWADMINから行ってください。

リモートプリンタ印刷（NetWare3.xJ/4.1xJ/5J）

NetWare3.xJ/4.1xJ/5J/IntranetWare-Jのリモートプリンタモードでネットワーク I/Fをお使いになる場合の設定方法を説明します。

まず、PCONSOLEまたはNWADMINを使ってプリンタ環境を設定します。お使いのNetWareによって、使用するユーティリティと手順が異なります。次のページをご覧ください。

- **NetWare3.xJ**
  「プリンタ環境の設定（PCONSOLEから）」（次ページ）
- **NetWare4.1xJ/IntranetWare-J（バインダリエミュレーション）**
  「プリンタ環境の設定（バインダリ）」（86ページ）
- **NetWare4.1xJ/IntranetWare-J/NetWare5J（NDS）**
  「プリンタ環境の設定（NWADMINから）」（91ページ）

その後、EpsonNet WinAssistでネットワークI/Fの設定をします。

設定を行うコンピュータに、Client32またはIntranetWare Clientをインストールしておいてください。

プリンタ環境の設定（PCONSOLE から）

NetWare3.xJ をお使いの方は、次の設定を行ってください。

1 NetWare サーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定する NetWare サーバに、クライアントから SUPERVISOR と同等の権限を持つユーザでログインします。

2 プリントキューの登録

① PCONSOLE を起動し、[利用可能な項目]から[プリントキュー情報]を選択します。

② Insert キーを押して、[新プリントキュー名]欄にプリントキュー名を入力します。

利用可能な項目
ファイルサーバの変更
プリントキュー情報
プリントサーバ情報

設定したプリントキューは、クライアントがプリンタを利用する際に使いますので、キュー名をクライアントに知らせてください。

3 キューユーザの登録

[プリントキュー]リストから作成したプリントキューを選択すると[プリントキュー情報]メニューが表示されますので、[キューユーザ]を選択して、[EVERYONE]が登録されていることを確認します。EVERYONEがない場合は、Insert キーを押して、キューユーザリストから[EVERYONE]を選択します。

4 プリントサーバの登録

①[利用可能な項目]から[プリントサーバ情報]を選択します。

② Insert キーを押して、[新プリントサーバ名]欄にプリントサーバ名を入力します。このプリントサーバ名は後で使用するのでメモしておいてください。

利用可能な項目
ファイルサーバの変更
プリントキュー情報
プリントサーバ情報

5 プリンタの構成

①[プリントサーバ]リストから作成したプリントサーバを選択すると、[プリントサーバ情報]画面が表示されますので、[プリントサーバ構成]を選択します。

プリントサーバ情報
パスワードの変更
フルネーム
プリントサーバ構成
プリントサーバ ID
プリントサーバオペレータ
プリントサーバユーザ

②[プリントサーバ構成メニュー]画面が表示されますので、[プリンタの構成]を選択します。

③[構成完了プリンタ]の最上段[インストールされていません（プリンタ番号＝0)]を選択します。

構成完了プリンタ	
インストールされていません	0
インストールされていません	1
インストールされていません	2

④次のように設定します。

⑤ Esc キーを押して、変更内容を保存します。

6 プリンタとキューの関連付け

①[プリントサーバ構成メニュー]から[プリンタでサービスされているキュー]を選択します。

プリントサーバ構成メニュー
使用されているファイルサーバ
プリンタ通知リスト
プリンタでサービスされているキュー
プリンタの構成

②[定義済みのプリンタ]リストから、手順5で作成したプリンタを選択します。

③ Insert キーを押して、[使用可能キュー]リストから、手順2で作成したキューを選択してください。

④[優先順位]を1から10までの数値で指定します。1が最優先です。

7 PCONSOLE の終了

Esc キーを押して、PCONSOLE を終了します。このあとは、**「ネットワーク I/F の設定」（95ページ）**へ進んでください。

プリンタ環境の設定（バインダリ）

NetWare4.1xJ/IntranetWare-J（バインダリエミュレーション）をお使いの方は、次の設定を行ってください。

- **必要に応じて、各ユーザにトラスティを割り当ててください。**
- **プリントキュー、プリントサーバは必ずPCONSOLEで設定してください。NWADMINではバインダリキューを作成できません。**

1 NetWareサーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定するNetWareサーバに、クライアントからADMINと同等の権限を持つユーザでログインします。この時、必ずバインダリ接続でログインしてください。

設定に使うクライアントがNDSモードでログインしている場合には、PCONSOLE起動時に F4 キーを押して、バインダリモードに移行してから設定を行ってください。

2 プリントキューの登録

①PCONSOLEを起動し、[利用可能な項目]から[プリントキュー]を選択します。

② Insert キーを押して、[新しいプリントキュー名]を入力します。

利用可能な項目
プリントキュー
プリンタ
プリントサーバ
クイックセットアップ
コンテキストの変更

設定したプリントキューは、クライアントがプリンタを利用する際に使いますので、キュー名をクライアントに知らせてください。

3 キューユーザの登録

[プリントキュー]リストから作成したプリントキューを選択すると[プリントキュー情報]メニューが表示されますので、[キューユーザ]を選択して、[EVERYONE]が登録されていることを確認します。EVERYONEがない場合は、 Insert キーを押して、キューユーザリストから[EVERYONE]を選択します。

4 プリントサーバの登録

①[利用可能な項目]から、[プリントサーバ]を選択します。

② Insert キーを押して、[新しいプリントサーバ名]を入力します。

5 PCONSOLE の終了

PCONSOLE を終了して、NetWare サーバからログアウトします。

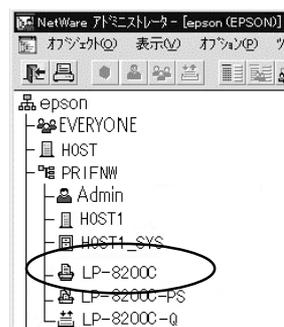
6 サーバへのログイン

NetWare サーバに、クライアントから ADMIN と同等の権限を持つユーザでログインします。この時、NDS 接続でログインしてください。

7 プリンタの作成

NWADMIN を起動し、手順 4 で作成したプリントサーバオブジェクトのあるコンテナをクリックして、メニューの[オブジェクト]-[作成]-[プリンタ]を選択します。プリンタ名を入力して 作成 ボタンをクリックします。

8 プリントキューの割り当て

① NetWare アドミニストレータ画面で、手順 7 で作成したプリンタオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

② 割り当て ボタンをクリックし、追加 ボタンをクリックします。

③プリントキューの一覧が表示されますので、割り当てるキュー（手順2で作成したキュー）を選択し、OK ボタンをクリックします。

9 プリンタタイプの設定

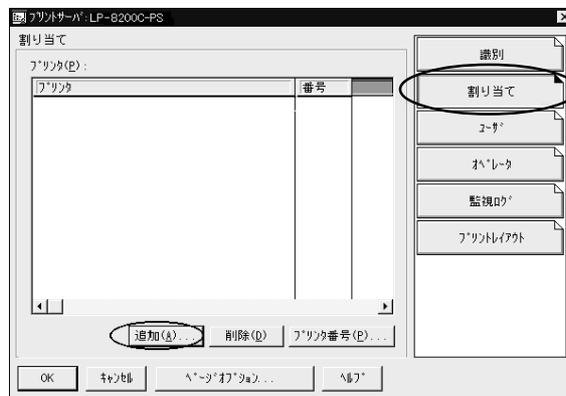
①[プリンタ]画面に戻って 環境設定 ボタンをクリックし、[プリンタタイプ]で[パラレル]を選択して、右の 通信 ボタンをクリックします。

②ポート[LPT1]、割り込み[ポーリング]、接続タイプ[手動ロード]を選択します。

③設定が終了したら OK ボタンをクリックして[パラレル通信]画面を閉じ、[プリンタ]画面で OK ボタンをクリックします。

10 プリンタの割り当て

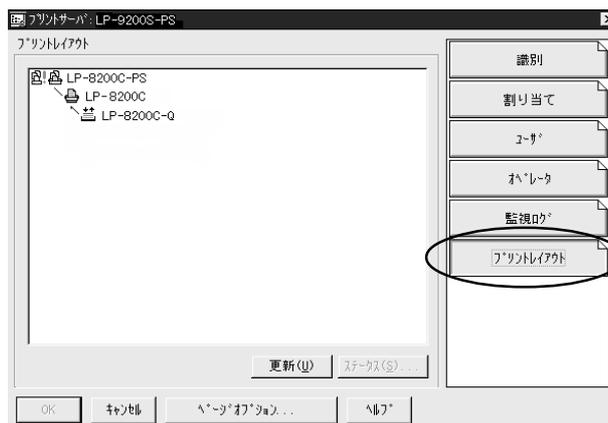
①NetWareアドミニストレータ画面で、手順4で作成したプリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

② 割り当て ボタンをクリックし、 追加 ボタンをクリックします。

③プリンタオブジェクトの一覧が表示されますので、手順7で作成したプリンタを選択し、 OK ボタンをクリックします。

④②の画面に戻って、一覧から割り当てたプリンタを選び プリンタ番号 ボタンをクリックします。プリンタ番号を0～15の範囲で設定し、 OK ボタンをクリックします。

11 割り当てたオブジェクトの確認

①NetWareアドミニストレータ画面で、手順4で作成したプリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

② プリントレイアウト ボタンをクリックします。
プリントサーバ、プリンタとプリントキューが関連付けられていることを確認してください。このあとは、**「ネットワークI/Fの設定」（95ページ）**へ進んでください。

プリンタ環境の設定（NWADMIN から）

NetWare4.1xJ/IntranetWare-J/NetWare5J（NDS）をお使いの方は、NWADMIN から設定できます。

1 NetWare サーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定するツリーに、クライアントから目的のコンテキストに対して ADMIN と同等の権限のあるユーザでログインします。

2 プリンタの作成

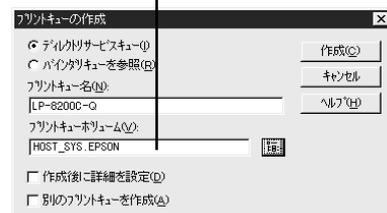
NWADMIN を起動します。ディレクトリコンテキストのアイコンをクリックし、メニューの[オブジェクト]-[作成]-[プリンタ]を選択します。プリンタ名を入力して 作成 ボタンをクリックします。

3 プリントサーバの作成

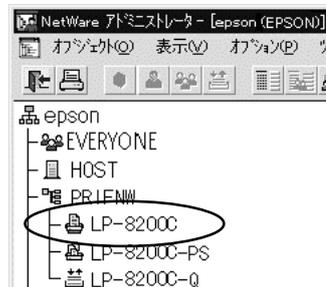
ディレクトリコンテキストのアイコンをクリックし、メニューの[オブジェクト]-[作成]-[プリントサーバ]を選択します。プリントサーバ名を入力して 作成 ボタンをクリックします。

4 プリントキューの作成

①ディレクトリコンテキストのアイコンをクリックし、メニューの[オブジェクト]-[作成]-[プリントキュー]を選択します。プリントキュー名を入力して 作成 ボタンをクリックします。

②プリントキューオブジェクトのアイコンをダブルクリックし、ユーザを登録します。

設定したプリントキューは、クライアントがプリンタを利用する際に使いますので、キュー名をクライアントに知らせてください。

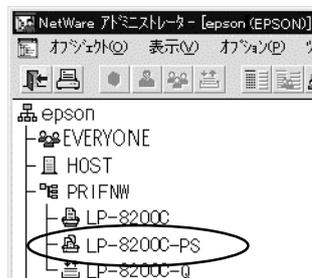
5　プリントキューの割り当て

①NetWareアドミニストレータ画面でプリンタオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

② 割り当て をクリックし、追加 ボタンをクリックします。

③プリントキューの一覧が表示されるので、手順4で作成したキューを選択し、OK ボタンをクリックします。

④ 環境設定 をクリックして[プリンタタイプ]欄で[その他/不明]を選択し、OK ボタンをクリックします。

6 プリンタの割り当て

① NetWareアドミニストレータ画面でプリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

② 割り当て をクリックし、追加 ボタンをクリックします。

③プリンタオブジェクトの一覧が表示されるので、割り当てるプリンタオブジェクトを選択し OK ボタンをクリックします。

④②の画面に戻って一覧から割り当てたプリンタを選び、プリンタ番号 ボタンをクリックします。プリンタ番号を0〜254の範囲で設定し、OK ボタンをクリックします。

7 割り当てたオブジェクトの確認

① NetWareアドミニストレータ画面で、プリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

② プリントレイアウト ボタンをクリックします。
プリントサーバ、プリンタとプリントキューが関連付けられていることを確認してください。続いて、次ページへ進んでください。

詳しくはNetWareのマニュアルをご覧ください。

ネットワーク I/F の設定

ネットワークに接続したプリンタの設定は、EpsonNet WinAssist から行います。

1 NetWare サーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定する NetWare サーバに、クライアントから SUPERVISOR または ADMIN と同等の権限を持つユーザでログインします。

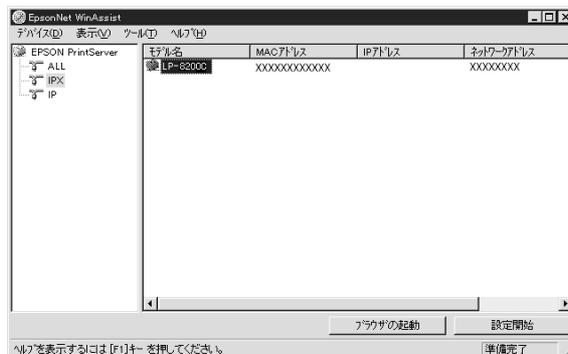
2 プリントサーバのロード

プリントキューボリュームを設定したファイルサーバで次のコマンドを入力し、プリントサーバモジュールをロードします。

> LOAD_PSERVER_PCONSOLE または NWADMIN で設定したプリントサーバ名
（_ は半角スペース）

3 EpsonNet WinAssist の起動

①[スタート]メニューのプログラム[EpsonNet WinAssist]をクリックして起動します。

②リスト画面の IPX グループに表示されるプリンタから、設定するプリンタを選択して 設定開始 ボタンをクリックします。

- **設定するネットワーク I/F は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。**
- **IP アドレスが工場出荷時の設定の場合、モデル名が表示されないことがあります。**
- **IPX グループにプリンタが表示されない場合は、プリンタの電源がオンになっているか、コンピュータと同一セグメントにプリンタがあるかを確認してください。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール]メニューの[探索オプション]（129 ページ）で設定すると、表示されます。**

4 NetWare設定画面の表示

[NetWare]タブをクリックして、ネットワークI/FのNetWare情報を設定します。

現在ログインしているNetWareの環境とネットワークI/Fに設定してあるNetWare環境が一致しないときは、メッセージが表示されます。メッセージをよくお読みになり、次の操作に移ってください。

5 基本設定とリモートプリンタ設定

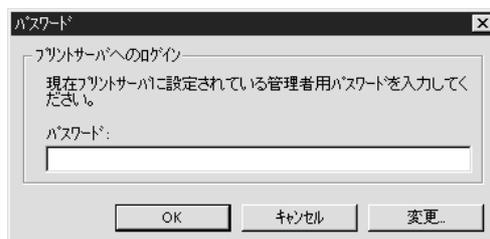
画面の右半分は、[モード]で[リモートプリンタ]を選択すると表示されます。

設定項目	設定内容
基本設定	
モード	動作モードを選択します。[リモートプリンタ]を選択してください。
フレームタイプ	使用するフレームタイプを選択します。 **自動を選択してください。自動以外を選択すると、設定エラーになります。**
NDS	
ツリー名	設定は不要です。
コンテキスト	設定は不要です。
リモートプリンタ	
プライマリプリントサーバ名	PCONSOLEまたはNWADMINで作成したプリントサーバ名を入力します。
プリンタポート番号	PCONSOLEまたはNWADMINで設定した、リモートプリンタのプリンタ番号を設定します。

6

設定の保存

① OK ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワークI/Fに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、変更 ボタンをクリックしてください。詳しくは「パスワードについて」（130ページ）を参照してください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

②その後、設定が有効になるまで最大3分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3分ほどしたら、[表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックして、設定値を確認してください。

NetWare 印刷

NDPS ゲートウェイ印刷（NetWare5J）

NetWare5J には、NDPS が標準装備されています。ここでは、Novell NDPS ゲートウェイ経由で印刷する方法を説明します。
Novell NDPS ゲートウェイは、IPX 上の rprinter、IP 上の LPR、または従来からある IPX 上のキューベースプリントシステムを使って NDPS で印刷するためのソフトウェアです。

- **NDPS を使うと、ネットワーク上のプリンタや印刷サービスの管理が従来の方法よりも簡単に行えます。**
- **本製品は、NDPS の[自動ドライバインストール]には対応していません。**
- **NDPS 経由で印刷する場合、バナー印刷は行えません。**

設定の流れ

次のような手順で設定します。NDPS についての詳細は、NetWare5J に添付されている NDPS の説明書を参照してください。

1．接続方法の決定と環境設定 .... 99 ページ

↓

2．NDPS マネージャの作成 .... 100 ページ

↓

3．NDPS プリンタエージェントの作成 .... 101 ページ

↓

4．EpsonNet WinAssist からのネットワーク I/F 設定 .... 108 ページ

↓

5．プリンタ設定（クライアント）......................... 111 ページ

接続方法の決定と環境設定

1

接続方法の決定

次の3種類の接続方法から、ご利用の環境にあったものを選びます。

・リモート（IPX上でrprinter）

ゲートウェイ経由で、RPRINTER（リモートプリンタ）モードのプリンタに印刷することができます。NetWareを初めてインストールするときや、現在の印刷環境が削除されても問題ない場合に使用できます。

リモート（IPX上でrprinter）を使うと、従来のキューベースプリントシステムの設定が失われます。

・リモート（IP上でLPR）

ゲートウェイ経由で、ネットワークI/FのIPアドレスを設定したプリンタに印刷できます。

・ジョブをキューに転送

ゲートウェイからキューに印刷ジョブを送って印刷します。従来のキューベースプリントシステムと共存したいときに使用できます。

2

必要なプロトコルのインストール（サーバ）

NetWareサーバに、次のプロトコルをインストールします。接続方法によって、インストールするプロトコルが異なります。

インストール方法はNetWare5Jのマニュアルをご覧ください。

- リモート（IPX上でrprinter）.... IPX
- リモート（IP上でLPR）.... TCP/IP
- ジョブをキューに転送 .... IPX

3

クライアントソフトのインストール（クライアント）

クライアントに、NetWare5J添付のクライアントソフトをインストールします。このとき[標準のインストール]を選択すると、NDPSも自動的にインストールされます。

4

プリンタドライバのインストール（クライアント）

クライアントに、使用するプリンタのプリンタドライバをインストールします。インストール方法はプリンタの取扱説明書をご覧ください。

- **NetWareサーバ経由でプリンタドライバをインストールしないでください。**
- **Novellプリンタマネージャ（NWPMW32.EXE）からは、プリンタの追加およびプリンタドライバのインストールをしないでください。**

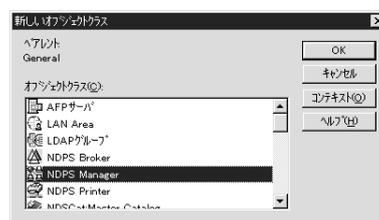
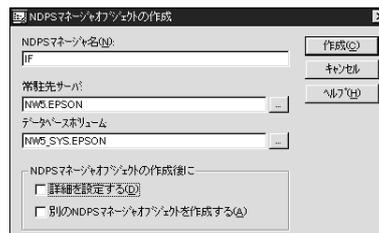
NDPS マネージャの作成

NetWare5J のツール NWADMIN から、NDPS マネージャを作成します。以下の操作はクライアントから行ってください。

1 NWADMIN の起動

クライアントから、NetWare アドミニストレータ（NWADMN32.EXE）を起動します。

2 NDPS Manager の設定

①ディレクトリコンテキストのアイコンを選択し、メニューの[オブジェクト]-[作成]-[NDPS Manager]を選択します。

②[NDPS マネージャ名]、[常駐先サーバ]、[データベースボリューム]を設定したら、作成 ボタンをクリックして設定を保存します。

3 NDPS マネージャのロード

NetWare サーバで、NDPS マネージャをロードします。サーバコンソールで次のコマンドを入力し、作成した NDPS マネージャを選択してください。

>LOAD_NDPSM（_ は半角スペース）

コマンドを常時使用する場合は、AUTOEXEC.NCF に[LOAD_NDPSM_ 識別名付き NDPS マネージャオブジェクト名]（_ は半角スペース）を記述してください。

NDPSプリンタエージェントの作成

続いて、NWADMINからNDPSプリンタエージェントを作成します。

ここでの設定と同じことが、サーバコンソールからも行えます。詳しくはNetWare5Jのマニュアルを参照してください。

1 プリンタタイプの決定

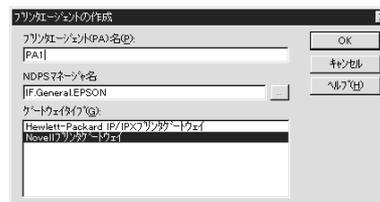
次の2種類のプリンタタイプから、使用するタイプを決定します。タイプの詳細は、NetWare5Jのマニュアルをご覧ください。

- **パブリックアクセスプリンタ（手順2へ）**
  この設定にするとネットワーク上の誰もがプリンタを使用できます。ただしNDSオブジェクトとしては登録されないため、セキュリティやイベント通知などのサービスが一部利用できません。
- **コントロールアクセスプリンタ（手順3へ）**
  NDSオブジェクトとして登録されるプリンタで、セキュリティやイベント通知などのサービスが利用できます。アクセス権のあるユーザだけが利用できます。

2 プリンタエージェントの作成（パブリックアクセスプリンタ）

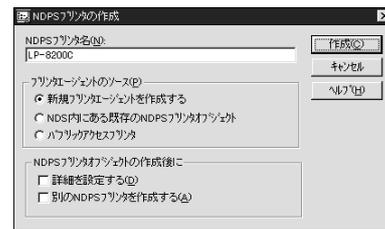
①作成したNDPSマネージャを選択し、メニューの[オブジェクト]-[詳細]画面を起動します。

② プリンタエージェントリスト ボタンをクリックして、新規 ボタンをクリックします。新規 ボタンが無効になっている場合は、サーバコンソールでNDPSMをロードしてください。

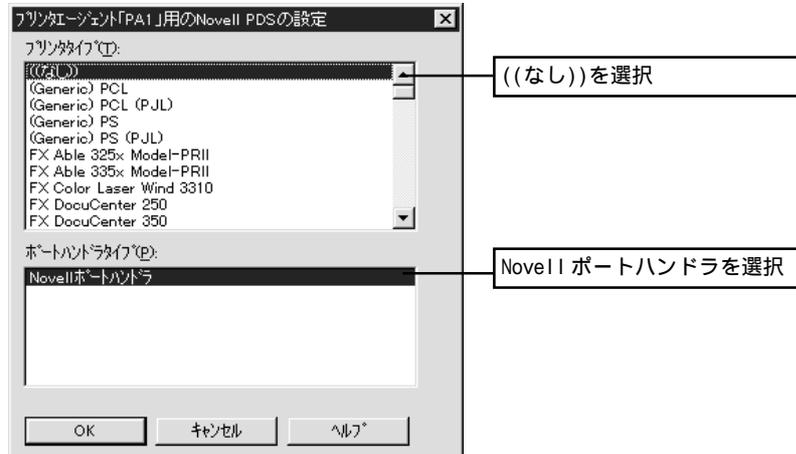
③[プリンタエージェント（PA）名]を入力します。
[ゲートウェイタイプ]は[Novellプリンタゲートウェイ]を選択し、OK ボタンをクリックします。続いて手順4へ進みます。

NetWare印刷

3 プリンタエージェントの作成（コントロールアクセスプリンタ）

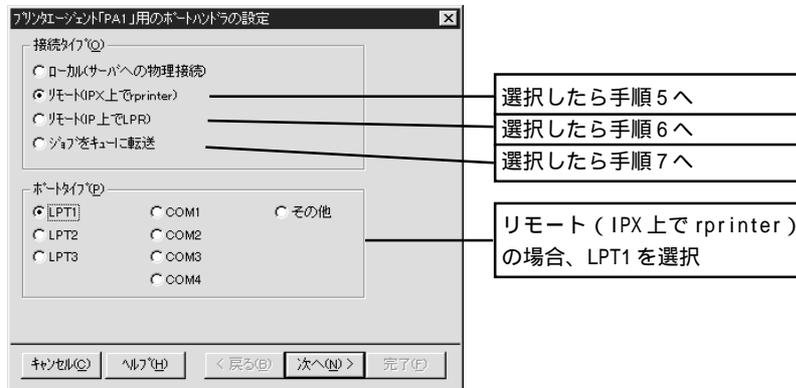
①ディレクトリコンテキストのアイコンを選択し、メニューの[オブジェクト]-[作成]-[NDPS Printer]を選択します。

②[NDPSプリンタ名]を入力し、[プリンタエージェントのソース]欄では[新規プリンタエージェントを作成する]を選択して 作成 ボタンをクリックします。それ以外の項目については、NetWare5Jのマニュアルを参照してください。

③[NDPSマネージャ名]では作成したNDPSマネージャを選択します。[ゲートウェイタイプ]は[Novellプリンタゲートウェイ]を選択し、 OK ボタンをクリックします。続いて手順4へ進みます。

4 プリンタタイプと接続タイプの選択

①[プリンタタイプ]と[ポートハンドラタイプ]を選択して OK をクリックします。

②お使いになる接続タイプとポートタイプを選択し、次へ をクリックします。
ここで選択する[接続タイプ]によって、次の手順へ進んでください。

- [リモート（IPX 上で rprinter）]　：手順5へ
- [リモート（IP 上で LPR）]　：手順6へ
- [ジョブをキューに転送]　：手順7へ

NetWare 印刷

5 （リモート（IPX上でrprinter））ポートハンドラの設定

ネットワークI/FのネットワークアドレスとMACアドレスは、ネットワークステータスシートに印刷されています。

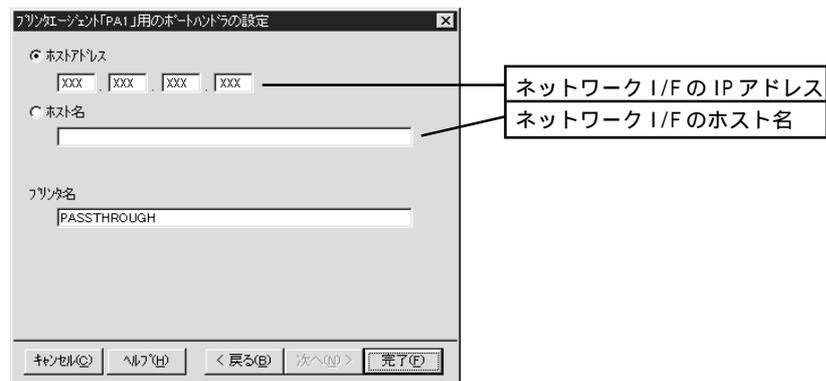
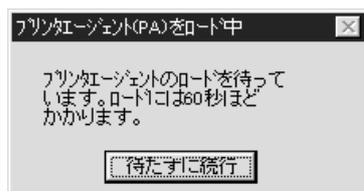
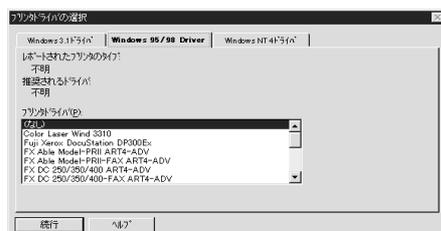
①次の項目を入力し、次へ をクリックします。

②[割り込み]は[なし]を選択し、完了 をクリックします。

③次の画面が表示されます。④の画面が表示されるまでお待ちください。

④[プリンタドライバ]は（なし）を選択します。この後は、手順8へ進んでください。

6 （リモート（IP上でLPR））ポートハンドラの設定

①次の項目を入力して 完了 をクリックします。DNSサーバにネットワークI/Fのホスト名を登録してある場合は、[ホスト名]を入力します。[プリンタ名]は図のように初期値のままにしておきます。

②次の画面が表示されます。③の画面が表示されるまでお待ちください。

③[プリンタドライバ]は（なし）を選択します。この後は、手順8へ進んでください。

7 （ジョブをキューに転送）ポートハンドラの設定

この設定は、すでに作成されているキューで、印刷のできる設定が完了していることを前提としています。印刷環境の設定については**「バインダリプリントサーバ印刷（NetWare3.xJ/4.1xJ）」（73 ページ）、「NDS プリントサーバ印刷（NetWare 4.1xJ/5J）」（78 ページ）、「リモートプリンタ印刷（NetWare3.xJ/4.1xJ/5J）」（83 ページ）**のいずれかを参照してください。

①[キュー名]と[キューユーザ名]を選択し、完了 をクリックします。

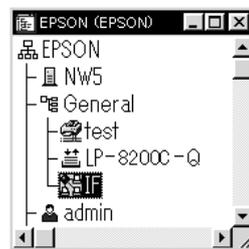
[キュー名]にはあらかじめ作成しておいたプリントキュー名を指定します。モードはプリントサーバ、リモートプリンタのどちらでも構いません。

②次の画面が表示されます。③の画面が表示されるまでお待ちください。

③[プリンタドライバ]は（なし）を選択します。この後は、手順8へ進んでください。

8 設定の確認

設定したNDPSプリンタエージェントを確認します。

① NWADMINで、作成したNDPSマネージャオブジェクトを選択し、メニュー[オブジェクト]-[詳細]画面を起動します。

② プリンタエージェントリスト ボタンをクリックします。ここで、作成したNDPSプリンタエージェントのステータスが[アイドル]になっていることを確認します。

リモート(IPX上でrprinter)をお使いの場合は、次ページからの設定を行ってから、この画面でステータスが[アイドル]になることを確認してください。

[リモート（IPX上でrprinter)]の場合は、続いて次ページからの設定を行ってください。

[リモート（IP上でLPR)]、[ジョブをキューに転送]の場合は、続いて**「プリンタ設定（クライアント)」（111ページ）**へ進んでください。

NetWare印刷

ネットワークI/Fへの設定（[リモート（IPX上でrprinter）]選択時）

リモート（IPX上でrprinter）の場合は、前ページに続いてEpsonNet WinAssistからネットワークI/Fを設定します。

- **次の操作は、[リモート（IPX上でrprinter）]をお使いの場合のみ設定してください。[リモート（IP上でLPR）]、[ジョブをキューに転送]をお使いの場合は設定不要です。**
- **設定を行うコンピュータに、Client32、IntranetWare Client、Novell Clientのいずれかをインストールしておいてください。**

1 サーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定するNetWareサーバに、クライアントからADMIN権限のあるユーザでログインします。

2 EpsonNet WinAssistの起動

①[スタート]メニューのプログラム[EpsonNet WinAssist]をクリックして起動します。

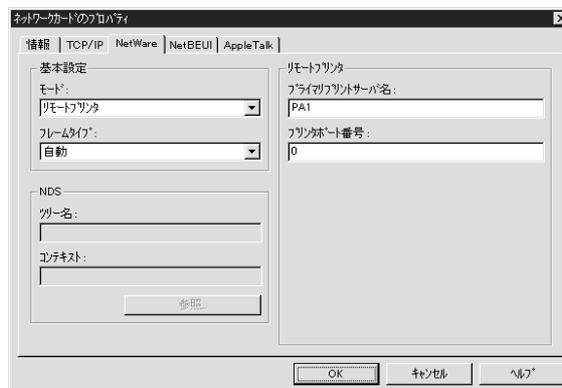
②リスト画面のIPXグループに表示されるプリンタから、設定するプリンタを選択して 設定開始 ボタンをクリックします。

- **設定するネットワークI/Fは、MACアドレスで区別します。MACアドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。**
- **IPアドレスが工場出荷時の設定の場合、モデル名が表示されないことがあります。**
- **IPXグループにプリンタが表示されない場合は、プリンタの電源がオンになっているか、コンピュータと同一セグメントにプリンタがあるかを確認してください。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール]メニューの[探索オプション]（129ページ）で設定すると、表示されます。**

3 NetWare 設定画面の表示

[NetWare]タブをクリックして、ネットワーク I/F の NetWare 情報を設定します。

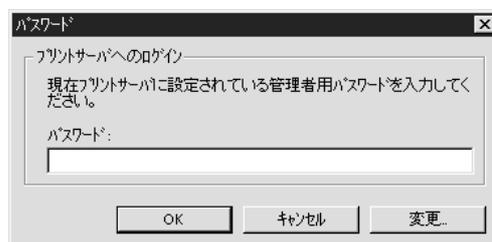
現在ログインしている NetWare の環境とネットワーク I/F に設定してある NetWare 環境が一致しないときは、メッセージが表示されます。メッセージをよくお読みになり、次の操作に移ってください。

4 基本設定とリモートプリンタ設定

画面の右半分は、[モード]で[リモートプリンタ]を選択すると表示されます。

設定項目	設定内容
基本設定	
モード	動作モードを選択します。[リモートプリンタ]を選択してください。
フレームタイプ	使用するフレームタイプを選択します。 **自動を選択してください。自動以外を選択すると、設定エラーになります。**
NDS	
ツリー名	設定は不要です。
コンテキスト	設定は不要です。
リモートプリンタ	
プライマリプリントサーバ名	104 ページの[SAP 名]と同じ名前を、半角英数 47 文字以内で入力します。
プリンタポート番号	プリンタ番号を、0～254 の数字で設定します。104 ページの[プリンタ番号]と同じ数字を入力します。

5 設定の保存

① OK ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワークI/Fに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、変更 ボタンをクリックしてください。詳しくは「パスワードについて」(130ページ)を参照してください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

②その後、設定が有効になるまで最大3分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3分ほどしたら、[表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックして、設定値を確認してください。

この後は、107ページの手順8を行ってから、次ページへ進んでください。

プリンタ設定（クライアント）

クライアントはプリンタのマニュアルを参照してプリンタドライバをインストールした後、印刷先にプリンタエージェントを指定します。

Novell プリンタマネージャ（NWPMW32.EXE）からは、プリンタの追加およびプリンタドライバのインストールをしないでください。

①プリンタのマニュアルを参照して、EPSON プリンタドライバをインストールします。

②[プリンタの追加]で印刷先を設定します。次のオブジェクトを出力先に設定してください。

・パブリックアクセスプリンタの場合

[Ndps パブリックアクセスプリンター]というネットワークグループの下に作成した NDPS プリンタエージェント

・コントロールアクセスプリンタの場合

NDS ツリー内に作成した NDPS プリンタエージェント

ステータスの表示、通知機能については、NetWare のマニュアルを参照してください。

NetWare 印刷

EpsonNet WebAssistからの設定

EpsonNet WinAssistで行うネットワークI/Fの設定は、お手持ちのブラウザから EpsonNet WebAssistを使って行うこともできます。

- **EpsonNet WebAssistには、プリントサーバモードでのEpsonNet WinAssistのような、プリントサーバ/キュー/プリンタを新規に作成する機能はありません。EpsonNet WebAssistでオブジェクトを設定するときは、EpsonNet WinAssistやPCONSOLE、NWADMINで作成済みのオブジェクト名を入力してください。**
- **お使いのコンピュータにWebブラウザをインストールしてください。**
- **EpsonNet WinAssist/MacAssistとEpsonNet WebAssistから、同時に同じネットワークI/Fに対して設定をしないでください。**
- **コンピュータとネットワークI/FにTCP/IPが正しく設定されていることを確認してください。**
- **お使いのブラウザにより、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いのブラウザおよびOSのマニュアルを参照してください。**

1 プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

2 EpsonNet WebAssistの起動

EpsonNet WinAssist/MacAssistから起動する方法と、ブラウザから起動する方法があります。

・EpsonNet WinAssistのリスト画面から、設定するプリンタを選択して ブラウザの起動 ボタンをクリックします。

・ブラウザを起動してネットワークI/FのIPアドレスを入力します。このとき、EpsonNet WinAssistは起動しないでください。

書式）　http://ネットワークI/FのIPアドレス/

例）　http://192.168.100.201/

3 NetWare 基本設定

[NDS コンテキスト]欄では、半角英数文字（ASCII 文字）のみ使用できます。2 バイト文字は使えません。

メニューの[設定]にある[NetWare]をクリックして、各項目を設定します。

NetWare	
NetWare基本設定	
NetWare	Enable
フレームタイプ	Auto
動作モード	NDS Print Server
NDSツリー名	EPSON
NDSコンテキスト	epson

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">設定内容</th></tr>
<tr><td>NetWare</td><td colspan="2">[Enable]を選択します。
[Disable]は NetWare を使用しない場合や、ダイヤルアップルータで NetWare を[Enable]にしておくと不都合がある場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>フレームタイプ</td><td colspan="2">使用するフレームタイプを選択します。
必ず Auto を選択してください。Auto 以外を選択すると、設定エラーになります。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">動作モード</td><td colspan="2">お使いのモードにあわせて選択します。</td></tr>
<tr><th>お使いのモード</th><th>選択する項目</th></tr>
<tr><td>4.1xJ/5J NDS
プリントサーバ</td><td>NDS Print Server</td></tr>
<tr><td>3.xJ/4.1xJ バインダリ
プリントサーバ</td><td>Bindery Print Server</td></tr>
<tr><td>リモートプリンタ</td><td>Remote Printer</td></tr>
<tr><td>NetWare を使用しない</td><td>Standby</td></tr>
<tr><td>NDS ツリー名</td><td colspan="2">NDS モードをお使いの場合のみ、ツリー名を半角英数 31 文字以内で入力します。リモートプリンタモードの場合は、入力不要です。</td></tr>
<tr><td>NDS コンテキスト</td><td colspan="2">NDS モードをお使いの場合のみ入力します。
NDS コンテキストを半角英数 255 文字以内で入力します。先頭に「.」は付けないでください。
リモートプリンタモードの場合は、入力不要です。</td></tr>
</table>

4 プリントサーバの設定

[動作モード]で[NDS Print Server]または[Bindery Print Server]を選択した場合は、プリントサーバを設定します。

プリントサーバ	
プライマリファイルサーバ名	HOST
プリントサーバ名	LP-8200C-XXXXXX
ポーリング間隔(5-90)	5 sec
NetWareパスワード	

設定項目	設定内容
プライマリファイルサーバ名	[Bindery Print Server]の場合のみ入力します。 プリントサーバがログインするファイルサーバ名を、半角英数 47 文字以内で設定します。
プリントサーバ名	プリントサーバ名を、半角英数 47 文字以内で設定します。 初期値：プリンタ名-ネットワーク I/F の MAC アドレスの下 6 桁
ポーリング間隔	通常は設定不要です。 ポーリング間隔を、5～90 秒以内で設定します。
NetWare パスワード	通常は設定不要です。ネットワーク I/F がプリントサーバへログインするためのパスワードを、半角英数 20 文字以内で設定します。

5 リモートプリンタの設定

[動作モード]で[Remote Printer]を選択した場合は、リモートプリンタを設定します。

設定項目	設定内容
プライマリプリントサーバ名	プリントサーバ名を、半角英数 47 文字以内で設定します。
プリンタポート番号	リモートプリンタのプリンタ番号を設定します。

6 設定の保存

① 送信 ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定を更新します。
パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssistで共通です。パスワードの設定方法は**「パスワード」（147ページ）**をご覧ください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

②「設定は正常に更新されました！」というメッセージが表示されたら、更新は終了です。このメッセージが表示されるまで、Webブラウザを終了したり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

③設定を有効にするために、画面のメッセージに従ってリセットをしてください。

ダイヤルアップネットワーク使用時の注意

ここでは、ダイヤルアップネットワークを使用する場合の注意点を説明します。

本文にある「プライマリサーバ」とは、プライマリタイムサーバ（ネットワーク上でワークステーションなどに時間を提供するサーバ）を指します。

各モードでの使用について

プリントサーバモード

必ず専用線接続で使います。

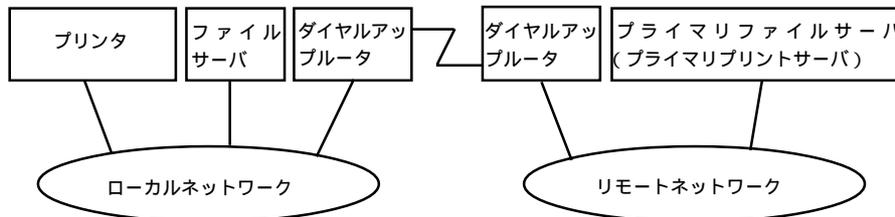
プリントサーバモードではファイルサーバに対してポーリングを行うため、ルータによる代理応答ができません。このため、ダイヤルアップ接続での使用はできません。

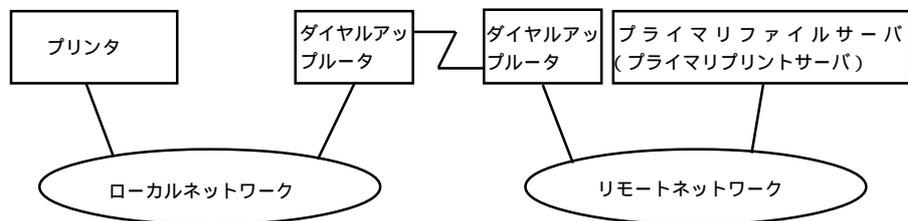
リモートプリンタモード

代理応答機能があるルータを使えば、ダイヤルアップ先にプライマリサーバを設置できます。しかし、プライマリサーバがダウンした場合などに不必要なダイヤルアップをしてしまう可能性があるため、ダイヤルアップ専用線接続をおすすめします。

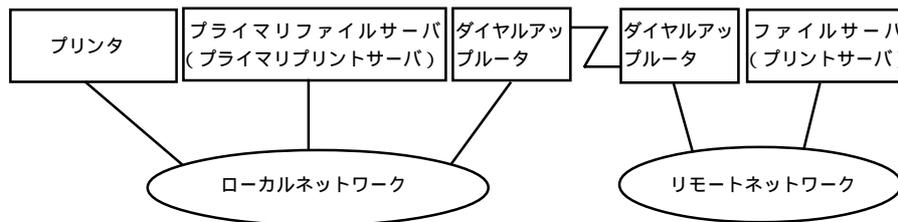
ダイヤルアップ接続をする場合は、次ページからの注意をお読みください。

ダイヤルアップ先にプライマリサーバがある場合

ローカルネットワークにファイルサーバがある場合

1. 電源投入時
   ローカルのファイルサーバ→プライマリサーバの順にアクセスするため、ダイヤルアップが発生します。
   このダイヤルアップは電源投入時の１回のみで、問題はありません。
2. ネットワークI/Fが正しく設定されていない場合
   ローカルのファイルサーバ→プライマリサーバの順にアクセスするため、ダイヤルアップが約5分間隔で発生します。
   ネットワークI/Fが正しく設定されていないことが原因です。本章にある設定を正しく行うと、この現象は発生しません。
3. 正常動作中（待機）
   NetWareのプロトコル規約により、SPX Watchdogパケットが送信されます。代理応答機能があるルータを使えば問題ありません。
4. 正常動作中（印刷）
   印刷データが転送されている間ダイヤルアップが発生します。ダイヤルアップネットワーク本来のダイヤルアップであるため問題ありません。
5. 動作中にプライマリサーバがダウンした場合
   定期的にプライマリサーバに接続を試みるため、ダイヤルアップが発生します。
   これは自動再接続機能が原因です。一度、プリンタの電源をOFFにしてください。
6. ローカルネットワークのファイルサーバがダウンした場合
   ローカルネットワークにファイルサーバがなくなると、ローカルネットワークでNetWareと本ネットワークI/FのNetWareプロトコルが使えなくなります。この状態ではダイヤルアップは発生しません。ローカルネットワークのファイルサーバが復帰すると、本ネットワークI/Fも自動復帰します。

ローカルネットワークにファイルサーバがない場合

ルータの設定によっては、ローカルネットワークにファイルサーバがなくても
NetWare プロトコルが使えます。
この場合の注意は、前ページ**「ローカルネットワークにファイルサーバがある場合」**
の1から5と同様です。前ページをご覧ください。

ローカルネットワークにプライマリサーバがある場合

本プリンタを設置したネットワークにプライマリサーバを設置しても、構成によっては不必要なダイヤルアップが発生します。
次の注意点は、プリントサーバモード、リモートプリンタモードで共通です。

1. 電源投入時
   プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。
2. 本ネットワークI/Fが正しく設定されていない場合
   プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。ただし、誤ってリモートネットワークのファイルサーバ / プリントサーバをプライマリサーバとして設定してしまった場合は、意図しないダイヤルアップが発生するので注意が必要です。この章にある設定を正しく行えば、この問題は発生しません。
3. 正常動作中（待機）
   プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。
4. 正常動作中（印刷）
   プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。
5. 動作中にプライマリサーバがダウンした場合
   定期的にプライマリサーバに接続を試みますが、ダイヤルアップは発生しません。ただし、ルータがSAPパケット(Find Nearest Server)を通過させる設定となっていると不必要なダイヤルアップが発生します。一度、本プリンタの電源をOFFにするか、ルータでSAPパケット（Find Nearest Server）を通過させないようにしてください。

9 OS/2 印刷

この章では、ネットワークに接続したプリンタをOS/2 Warp3、4(OS/2Warp Connect、OS/2Warp Serverを含む)で使用する際の設定方法を説明します。

対応するシステムは次のとおりです。

- OS/2 Warp 3、4
- Warp付属のlprportd (TCP/IP)
- プリンタ共有 (NetBEUI)

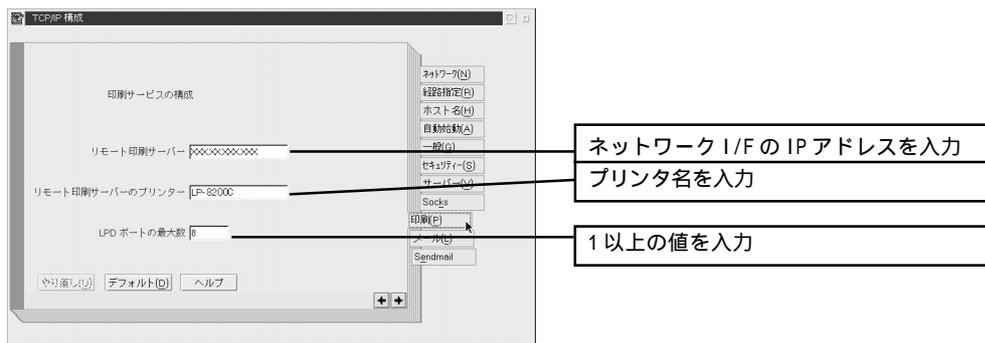
TCP/IP 印刷

ここでは、OS/2Warp に標準でサポートされる lprportd を使用して、TCP/IP 印刷をする方法を説明します。

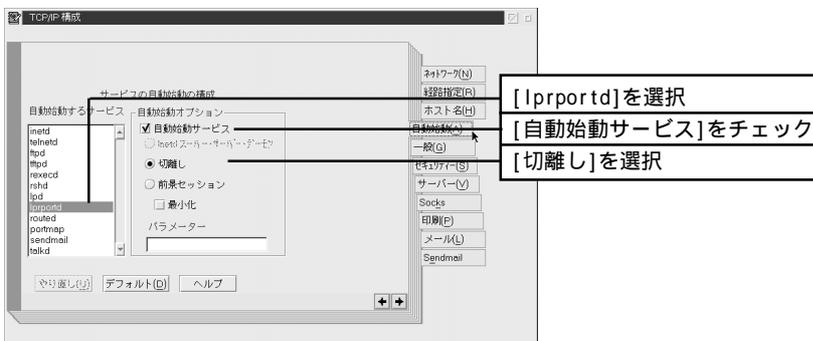
1 [TCP/IP の構成]起動

[OS/2 システム]フォルダを起動し、[システム設定]フォルダから[TCP/IP の構成]アイコンを起動します。

2 [印刷]画面での設定

[印刷]タブをクリックして、次のように設定します。

ここでプリンタの設定をしても印刷が行えない場合は、[ホスト名]タブをクリックして[ホスト名]画面での設定をしてください。

3 [自動始動]画面での設定

[自動始動]タブをクリックして、次のように設定します。

4 TCP/IP 構成終了

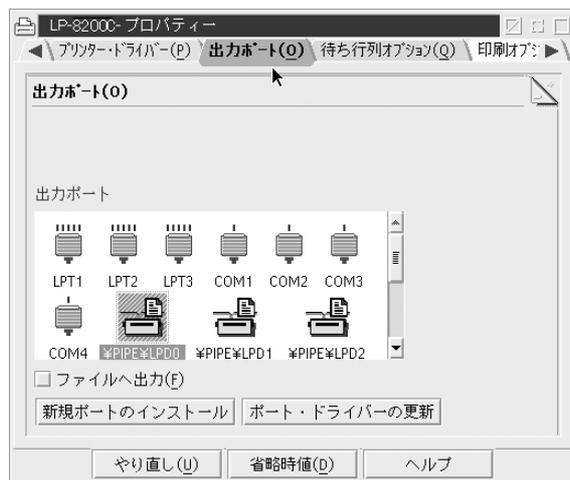
[TCP/IP 構成]を保存して終了し、コンピュータを再起動します。

5 プリンタの作成

[OS/2システム]フォルダの[テンプレート]から、[プリンタ]をデスクトップにドラッグして、プリンタを作成します。

6 ポートの設定

①プリンタアイコンをダブルクリックして、メニューの[プロパティー]画面にある、[出力ポート]タブをクリックします。

②[出力ポート]欄で[\\PIPE\LPD0]〜[\\PIPE\LPDn](n は LPD ポートの最大数）のどれかを選択し、ダブルクリックします。

③[\PIPE\LPD ー設定]画面が表示されます。
[LPD サーバ]欄にネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。[LPD プリンター]欄に手順2で登録したプリンタ名を入力します。

④プリンタ設定を終了し、プリンタアイコンを閉じます。これで設定は終了です。

NetBEUI 印刷

ネットワークI/Fを装着したプリンタの設定を行います。

1 OS/2 NETBIOSの確認

設定するコンピュータに、[IBM OS/2 NETBIOS]が組み込まれていることを確認します。詳しくはOS/2のマニュアルを参照してください。

2 プリンタ作成

①プリンタを作成します。

②目的のプリンタをダブルクリックして、[プロパティー]画面にある[出力ポート]タブをクリックします。

③出力ポートを選択します。

3 net use コマンド実行

DOSプロンプトから次のコマンドを実行して、プリンタに接続します。

書式）net_use_出力ポート:_\\ネットワークI/FのNetBIOS名\ネットワークI/Fのデバイス名（_は半角スペース）

例）　LPT1に設定したプリンタと接続する場合
>net_use_LPT1:_\\EPxxxxxx\EPSON

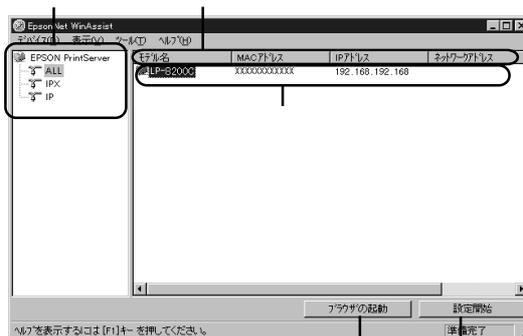
ネットワークI/FのNetBIOS名とネットワークI/Fのデバイス名は、ネットワークステータスシートで確認できます。NetBIOS名とデバイス名を変更する場合は、Windows95/98/NTからEpsonNet WinAssist/WebAssistを使って設定してください。

10 設定ユーティリティの各機能

この章では、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist のオプション機能を含む各機能の概要を説明します。

EpsonNet WinAssist

リスト画面とメニュー

リスト画面

項目	説明
①ツリービュー	クリックすると、ツリーごとにネットワーク I/F 情報を表示します。 **IPX 欄には、NetWare の通信プロトコルである IPX を使用し、NetWare サーバまたは NDS コンテキストに管理者の権限でログインしていないと、表示されません。**
②項目名	各項目をクリックすると、クリックした項目を元に並べ替えができます。また、項目名ボタンの境界をドラッグすると、各項目の表示領域サイズを調整できます。
③リストビュー	ネットワーク I/F の情報を表示します。
④ ブラウザの起動	リストでプリンタを選択してこのボタンをクリックすると、EpsonNet WebAssist が起動します。
⑤ 設定開始	リストでプリンタを選択してこのボタンをクリックすると、ネットワーク I/F の設定画面が表示されます。

メニューバー

ツールメニューの詳細は、このページから129ページの間で説明しています。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td colspan="3">デバイス</td></tr>
<tr><td>設定</td><td colspan="2">選択したネットワークI/Fの設定を開始します。</td></tr>
<tr><td>ブラウザの起動</td><td colspan="2">EpsonNet WebAssistを起動します。</td></tr>
<tr><td>アプリケーションの終了</td><td colspan="2">EpsonNet WinAssistを終了します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">表示</td></tr>
<tr><td>最新の情報に更新</td><td colspan="2">プリンタの再検索を行い、リスト画面の一覧表示を最新の情報に更新します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">ツール</td></tr>
<tr><td>タイムアウト設定</td><td colspan="2">ネットワークI/Fとデータを送受信する際のタイムアウト時間を、2〜120秒の間で設定します。
設定した時間を超えた場合は、通信エラーになります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">探索オプション</td><td>IP</td><td>IPの探索オプションを設定します。</td></tr>
<tr><td>IPX</td><td>IPXの探索オプションを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">ヘルプ</td></tr>
<tr><td>トピックの検索</td><td colspan="2">ヘルプを表示します。</td></tr>
<tr><td>レビジョン情報</td><td colspan="2">レビジョン情報と著作権情報を表示します。</td></tr>
</table>

ツール - タイムアウト設定

[タイムアウト設定]では、ネットワークI/Fとデータを送受信する際に、通信エラーとするまでのタイムアウト時間を設定します。
2〜120秒の間で設定します。ここで設定した時間を超えた場合は、通信エラーになります。

ツール - 探索オプション - IP

ネットワークI/FをTCP/IPで管理している場合に、ローカルネットワークの外にあるネットワークI/Fを表示、設定したいときには、ここで特定のアドレスを設定すると、設定したセグメントにあるネットワークI/Fが検索されます。
ここで設定し、保存した値は、[表示]メニューの[最新の情報に更新]を実行するか、EpsonNet WinAssistを再起動したときに有効になります。

項目	説明
①特定アドレスへの探索を有効にする	ルータを越えたところにあるネットワークI/Fを探索する場合にチェックします。
②IPアドレス	探索するIPアドレスを入力します。(0～255) ネットワーククラスにより、次のように入力してください。 クラスA:[入力].[255].[255].[255] クラスB:[入力].[入力].[255].[255] クラスC:[入力].[入力].[入力].[255]
③IPアドレス一覧	登録済みのIPアドレスを表示します。
④ 追加	②でIPアドレスを入力したらクリックして追加します。最大20個登録できます。 **ローカルアドレスの追加は行わないでください。**
⑤ 削除	使わないアドレスを③で選択してクリックし、削除します。
⑥ OK	設定を保存します。
⑦ キャンセル	設定を取り消します。

ツール - 探索オプション - IPX

ネットワークI/FをIPX（NetWare）で管理している場合に、ローカルネットワークの外にあるネットワークI/Fを表示、設定したいときには、ここでネットワークI/Fのネットワークアドレスを設定します。
ここで設定し、保存した値は、[表示]メニューの[最新の情報に更新]を実行するか、EpsonNet WinAssistを再起動したときに有効になります。

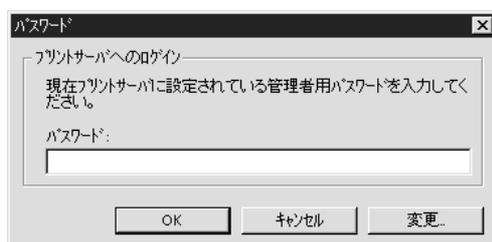
- **IPXの探索は、NetWareサーバに管理者の権限でログインしている場合に、行うことができます。**
- **ネットワークアドレスは、ネットワークステータスシートの[NetWare]欄にある[IPX Network Node]をご覧ください。**
- **ダイヤルアップネットワークをお使いの場合、探索しないアドレスを探索アドレスに登録したままにしておくと、余分な課金が発生するおそれがありますので、ご注意ください。**

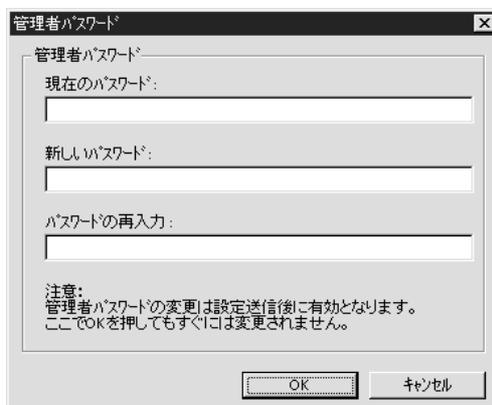
項目	説明
①特定アドレスへの探索を有効にする	特定のアドレスを探索する場合にチェックします。
②ネットワークアドレス一覧	現在のネットワークアドレスを表示します。
③ 追加	ネットワークアドレス一覧でアドレスを選択してクリックすると追加されます（最大256個登録可能）。
④ 削除	探索アドレスから使わなくなったアドレスを選択してクリックすると削除されます。
⑤ 探索アドレス	探索するネットワークアドレスを表示します。
⑥ OK	設定を保存します。
⑦ キャンセル	設定を取り消します。

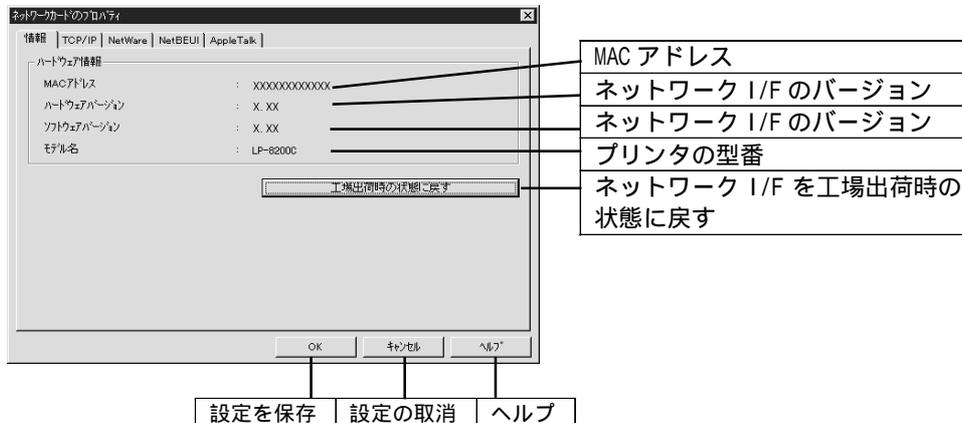
設定画面

パスワードについて

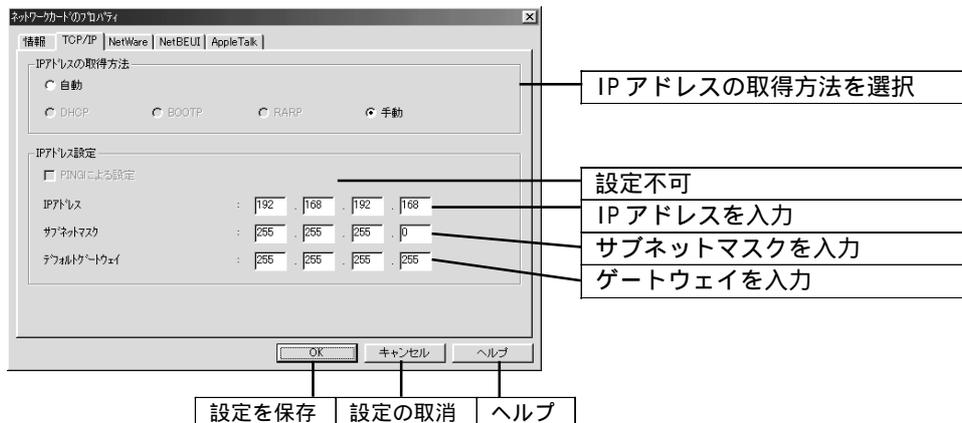
EpsonNet WinAssistでは、ネットワークI/Fの設定を保護するためのパスワードを設定できます。各設定画面で OK をクリックしたり、情報画面で 工場出荷時の状態に戻す をクリックすると、次の画面が表示されます。

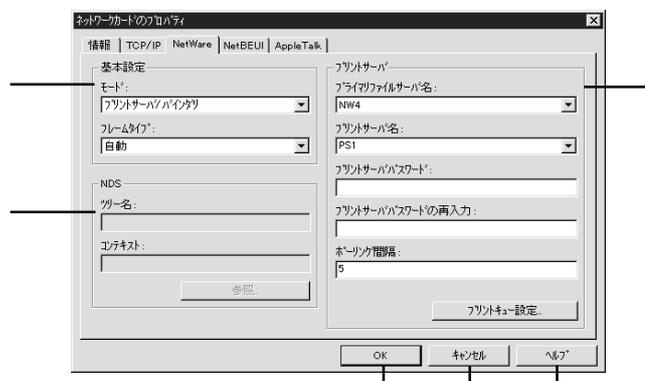
① はじめてパスワードを設定する場合や、パスワードを変更する場合は、変更 ボタンをクリックします。
初めてパスワードを設定する場合、パスワードは何も登録されていません。

② 変更 ボタンをクリックすると次の画面が表示されますので、各パスワードを半角英数20文字以内で入力して、OK をクリックします。大文字小文字は区別されます。

- **パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssistで共通に使用するものです。それぞれのユーティリティを使う場合は、パスワードの管理に注意してください。**
- **新しいパスワードは、①の[パスワード]画面で OK ボタンをクリックし、設定送信した後に有効になります。[管理者パスワード]画面で設定した直後は、[パスワード]画面で[現在のパスワード]を入力してください。**
- **パスワードを忘れてしまった場合は、ネットワークI/Fを工場出荷時の設定に戻す必要があります。工場出荷時の設定に戻す方法は、「ネットワークI/Fの初期化」（165ページ）を参照してください。**

情報

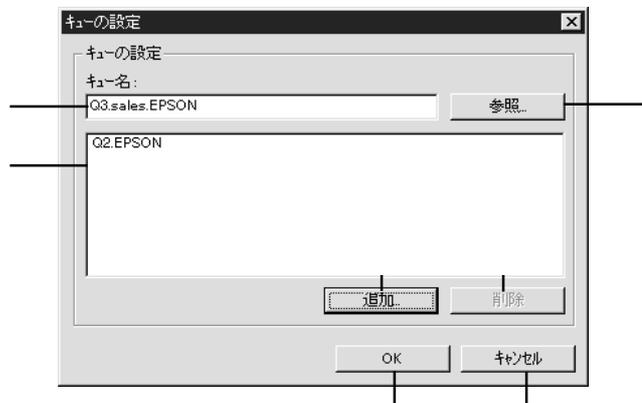
この画面には、ネットワークI/Fの設定状態が表示されます。

TCP/IP

ネットワークI/FのTCP/IP情報を設定します。詳しくは**「4 TCP/IPの設定」**をご覧ください。

設定ユーティリティの各機能

NetWare- プリントサーバ

NetWare をプリントサーバで使う場合、この画面で設定します。詳しくは **「8 NetWare 印刷」** をご覧ください。

項目	説明
①基本設定	
モード	動作モードを選択します。
フレームタイプ	フレームタイプを選択します。必ず[自動]を選択してください。
②NDS	
ツリー名	NDS ツリー名を設定します。
コンテキスト	NDS コンテキストを設定します。
参照	NDS コンテキストを選択できます。
③プリントサーバ	
プライマリ ファイルサーバ名	プリントサーバがログインするサーバを選択します。 NDS モードの場合は設定不要です。
プリントサーバ名	プリントサーバを選択または入力します。
プリントサーバ パスワード	プリントサーバへログインするためのパスワードを入力します。
プリントサーバパスワードの再入力	プリントサーバパスワードを再入力します。
ポーリング間隔	ポーリング間隔を設定します。
プリントキュー設定	キューの設定をします。
④ OK	設定を保存します。
⑤ キャンセル	設定を取り消します。
⑥ ヘルプ	ヘルプを表示します。

NetWare- プリントサーバ - キューの設定

プリントサーバ設定で プリントキュー設定 ボタンをクリックした場合、この画面で設定します。詳しくは**「8 NetWare 印刷」**をご覧ください。

項目	説明
①キュー名	割り当てるキューを表示します。
② 参照	キューの選択、作成、削除をします。
③キュー一覧	キューの一覧を表示します。
④ 追加	割り当てるキューを追加します。
⑤ 削除	キューの割り当てを解除します。
⑥ OK	設定を保存します。
⑦ キャンセル	設定を取り消します。

NetWare- リモートプリンタ

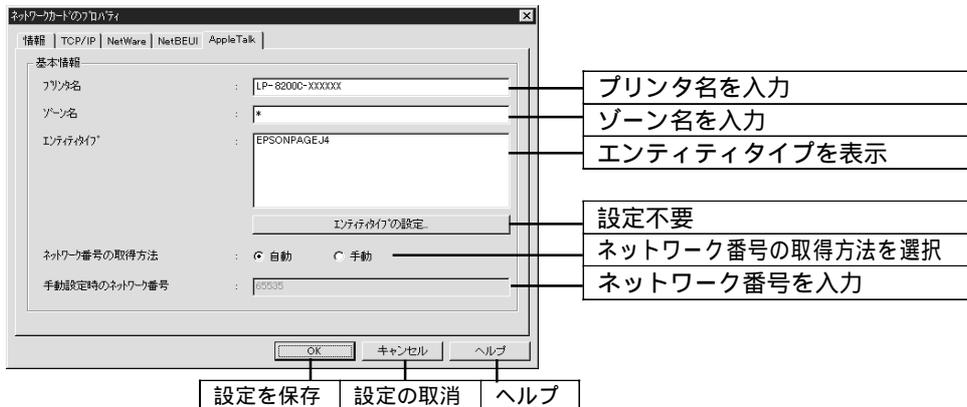
NetWareをリモートプリンタで使う場合、この画面で設定します。詳しくは**「8 NetWare印刷」**をご覧ください。

項目	説明
①基本設定	
モード	動作モードを選択します。
フレームタイプ	フレームタイプを選択します。必ず[自動]を選択してください。
②NDS	
ツリー名	設定は不要です。
コンテキスト	設定は不要です。
③リモートプリンタ	
プライマリ プリントサーバ名	プライマリプリントサーバ名を入力します。
プリンタポート番号	プリンタ番号を入力します。
④ OK	設定を保存します。
⑤ キャンセル	設定を取り消します。
⑥ ヘルプ	ヘルプを表示します。

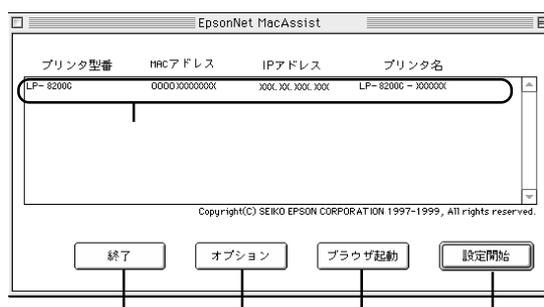
NetBEUI

NetBEUIを設定します。詳しくは**「5 Windows95/98印刷」「6 WindowsNT4.0印刷」**をご覧ください。

AppleTalk

AppleTalkの設定をします。詳しくは**「7 AppleTalk印刷」**をご覧ください。

EpsonNet MacAssist

リスト画面とオプション

リスト画面

項目	説明
①リストビュー	ネットワーク I/F の情報を表示します。
② 終了	EpsonNet MacAssist を終了します。
③ オプション	2 つの機能があります。詳しくは次ページをご覧ください。
④ ブラウザ起動	リストでプリンタを選択してこのボタンをクリックすると、EpsonNet WebAssist が起動します。ブラウザが起動すると EpsonNet MacAssist は終了します。
⑤ 設定開始	リストでプリンタを選択してこのボタンをクリックすると、ネットワーク I/F の設定画面が表示されます。

オプション - タイムアウト時間

リスト画面で オプション ボタンをクリックすると表示されます。
EpsonNet MacAssistで1ゾーンあたりの通信に使用するタイムアウトのベース時間を、3～99秒の間で設定します。初期値は5です。
ここでの設定は、EpsonNet MacAssistを再起動したときに有効になります。

オプション - ゾーン選択

上のオプション画面で ゾーン選択 ボタンをクリックすると表示されます。
お使いのコンピュータのゾーン外にあるネットワークI/Fを表示、設定したいときは、ここでゾーンを追加すると、そのゾーンについても検索されます。ここでの設定は、EpsonNet MacAssistを再起動したときに有効になります。

ゾーン名は最大2000まで表示されます。

検索したいゾーンを追加するときは、[ゾーン一覧]でゾーンを選択して
追加 ボタンをクリックします。検索が不要になったゾーンは、[探索ゾーン]で選択して 削除 ボタンをクリックします。OK をクリックして、設定を保存します。

設定画面

パスワードについて

EpsonNet MacAssistでは、ネットワークI/Fの設定を保護するためのパスワードを設定できます。設定画面で 送信 をクリックしたり、工場出荷時状態に戻す をクリックすると、次の画面が表示されます。

① はじめてパスワードを設定する場合や、パスワードを変更する場合は、変更 ボタンをクリックします。
はじめてパスワードを設定する場合、パスワードは何も登録されていません。

② 変更 ボタンをクリックすると次の画面が表示されますので、各パスワードを半角英数20文字以内で入力して、OK をクリックします。大文字小文字は区別されます。

- **パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssistで共通に使用するものです。それぞれのユーティリティを使う場合は、パスワードの管理に注意してください。**
- **新しいパスワードは、①の[パスワード]画面で OK ボタンをクリックし、設定送信した後に有効になります。[管理者用パスワード]画面で設定した直後は、[パスワード]画面で[現在のパスワード]を入力してください。**
- **パスワードを忘れてしまった場合は、ネットワークI/Fを工場出荷時の設定に戻す必要があります。工場出荷時の設定に戻す方法は、「ネットワークI/Fの初期化」(165ページ)を参照してください。**

設定画面

IP アドレスの設定と AppleTalk の設定を行います。詳しくは**「4 TCP/IP の設定」、「7 AppleTalk 印刷」**をご覧ください。

項目	説明
①IP アドレスの設定	
IP アドレスの取得方法	IP アドレスの取得方法を選択します。
IP アドレス	IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイを設定します。
②AppleTalk の設定	
プリンタ名	プリンタ名を入力します。
エンティティタイプ	プリンタのエンティティタイプを表示します。
ゾーン名	AppleTalk のゾーンを選択します。
ネットワーク番号の取得方法	AppleTalk のネットワーク番号の設定方法を選択します。
手動設定時のネットワーク番号	ネットワーク番号を入力します。
③ 工場出荷時状態に戻す	ネットワーク I/F を工場出荷時の設定に戻します。
④ キャンセル	設定を取り消します。
⑤ 送信	設定を更新します。

EpsonNet WebAssist

オープニング画面

インデックスとメニュー

基本情報	ネットワーク I/F の情報とプリンタの状態を表示します。
NetWare	NetWare の情報を表示します。
TCP/IP	TCP/IP の情報を表示します。
AppleTalk	AppleTalk の情報を表示します。
NetBEUI	NetBEUI の情報を表示します。
SNMP	SNMP の情報を表示します。

NetWare	NetWare を設定します。
TCP/IP	TCP/IP を設定します。
AppleTalk	AppleTalk を設定します。
NetBEUI	NetBEUI を設定します。
SNMP	SNMP を設定します。

管理者情報	管理者名と、このページからリンクする任意の URL を設定します。
リセット	ネットワーク I/F のリセットおよび工場出荷時設定をします。
パスワード	ネットワークの設定を保護するために、パスワードを設定します。

EPSON	ホームページ「I love EPSON」へ

情報

ここでは、[基本情報]について説明します。その他の項目は、次ページ「ネットワーク」の画面とほぼ同じです。

インターフェイスカード情報

ネットワーク I/F の情報と、プリンタの状態を表示します。

- **MAC アドレスは、ネットワークステータスシートでも確認できます。**
- **プリンタステータスは自動的には更新されません。現在のステータスを知りたいときは、[ステータス更新] ボタンをクリックして最新の情報に更新してください。**

プリンタの状態を表示

ランプ	説明
緑	印刷可能または印刷中
黄	・紙残量少 ・トナー残量少 ・警告
赤	・紙詰まり　・紙なし ・トナーなし ・カバーオープン ・オフライン　・エラー

ネットワーク

詳しくは、5～8章をご覧ください。

NetWare

NetWare 基本設定

プリントサーバ

リモートプリンタ

TCP/IP

AppleTalk

設定ユーティリティの各機能

NetBEUI

SNMP

SNMPコミュニティやトラップ情報の設定ができます。

- **メニュー**
  メニューの[SNMP]をクリックすると左の画面が表示されます。ここで設定したい項目をクリックします。IPトラップ、IPXトラップはそれぞれ2つまで設定できます。

SNMP- コミュニティ

SNMP- IP トラップ

SNMP- IPX トラップ

オプション

管理者情報

ネットワークI/Fの管理者名を設定できます。また、よく使う任意のURLを設定すると、インデックスの[Favorite（名前は変更可能)]からリンクすることができます。
パスワードを設定してある場合は、パスワードの入力が必要です。

リセット

ネットワークI/Fのリセットおよび工場出荷時設定をします。
終了のメッセージが表示されたら、更新は完了です。

パスワード

パスワードはネットワークI/Fの設定内容を保護するためのものです。ここで設定したパスワードは、各設定画面でネットワークI/Fの設定を更新するときに使います。半角英数20文字以内で入力します（大文字・小文字が区別されます）。入力したパスワードは“＊”で表示されます。
はじめてパスワードを設定する場合、パスワードは何も登録されていません。

- **パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssistで共通に使用するものです。それぞれのユーティリティを使う場合は、パスワードの管理に注意してください。**
- **パスワードを忘れてしまった場合は、ネットワークI/Fを工場出荷時の設定に戻す必要があります。工場出荷時の設定に戻す方法は、「ネットワークI/Fの初期化」（165ページ）を参照してください。**

11 EpsonNet WebManager について

この章では、ネットワークデバイスをWebブラウザで管理するユーティリティ、EpsonNet WebManagerについて説明します。

はじめに

EpsonNet WebManagerについて

EpsonNet WebManagerは次のような特長を持つユーティリティです。

・ EpsonNet WebManagerは、ネットワークデバイス管理用のユーティリティソフトです。
ネットワーク上に接続されているプリンタと、プリンタに装着されているネットワークI/Fを探索し、現在どのような状態にあるかを確認したり、設定を変更したりできます。
また、複数のデバイスをまとめて管理するために、グループごとに分類することもできます。

・ EpsonNet WebManagerは、ネットワークの管理を行う方が使用してください。
ネットワーク管理者は、WebブラウザでEpsonNet WebManagerをインストールしたコンピュータにアクセスすることで、ネットワーク上のデバイス管理が可能になります。

・ EpsonNet WebManagerはWebブラウザ上で動作します。このためWindows、Macintoshといったマルチプラットフォームに対応しています。
ただし、EpsonNet WebManager自体のインストールは、Windows95/98/NT4.0/NT3.51でのみ行えます。

・ EpsonNet WebManagerは、152ページに示すEPSON製プリンタの他にも、プリンタMIB対応の他社製プリンタを管理できます。
ただし、他社製プリンタの場合、一部の情報の表示や設定ができない場合があります。

動作環境

EpsonNet WebManagerは次の環境で動作します。

- **EpsonNet WebManagerを使う前に、使用するコンピュータとプリンタがネットワークに接続され、必要な設定が済んでいることを確認してください。
ネットワーク環境設定の詳細は、ネットワークI/Fの取扱説明書（本書の1章～10章）を参照してください。**
- **EpsonNet WebManagerはWebブラウザ上で動作します。Webブラウザを使用するには、お使いのコンピュータにTCP/IPを組み込む必要があります。TCP/IPの組み込みについては、ネットワークI/Fの取扱説明書（本書の「4 TCP/IPの設定」）を参照してください。
また、どのコンピュータに、EpsonNet WebManagerを使うための環境設定をするかは、「EpsonNet WebManagerの使用形態」（156ページ）を参照してください。**

サーバ

EpsonNet WebManagerは、ネットワーク上でサーバとして機能するコンピュータにインストールします。
EpsonNet WebManagerをインストールできるコンピュータは次のとおりです。

コンピュータ

下記のOSが動作可能なIBM PC-AT互換機

- CPU :Pentium 200MHz以上
- メモリ :64MB以上
- HDD :空き容量20MB以上

OS

- Microsoft WindowsNT4.0/3.51（Intel版 Server/Workstation）
- Microsoft Windows95/98

本章では、EpsonNet WebManagerをインストールするコンピュータをサーバと呼びます。

クライアント

EpsonNet WebManagerは、Webブラウザ上で動作します。
このため、クライアントとして機能するコンピュータがMacintoshであっても、Webブラウザがインストールされていれば、Webブラウザ上からサーバにアクセスして使用することができます。

EpsonNet WebManagerを使用するために必要なWebブラウザの種類とバージョンについては、Readme.txtファイルを参照してください。Readme.txtファイルは、CD-ROM中のEnwebmフォルダにあります。

画面の設定は、解像度1024×768、256色以上でお使いになることをお薦めします。

EpsonNet WebManagerで管理できるデバイス

EpsonNet WebManagerでは、LP-8200Cや、以下のデバイスを管理することができます。

- **本書での「デバイス」は、プリンタと、プリンタに装着したネットワークI/Fカードを指します。**
- **デバイスの組み合わせにより、EpsonNet WebManagerの一部の機能が使用できない場合があります。詳しくは「使用可能な機能とデバイスの組み合わせ」（154ページ）を参照してください。**

プリンタ

EpsonNet WebManagerで管理できるプリンタは、次ページに記載のネットワークI/Fでネットワークに接続されている、次のプリンタです。（'99年6月現在）

EPSON製プリンタ

- ページプリンタ

  LP-1700/1700S/1800　LP-8200/8300/8300S/8400/8600
  LP-9200/9200S/9200SX　LP-9300/9600（ネットワークI/F標準装備）
  LP-8000C（コピーサーバCS-5500Nに接続されたLP-8000Cも含みます）
  LP-8200C（ネットワークI/F標準装備）

- インクジェットプリンタ

  EM-900C　EM-900CN（ネットワークI/F標準装備）
  MJ-910C/930C　MJ-3000C/3000CU/5100C/6000C/8000C
  PM-5000C/9000C

- ドットマトリックスプリンタ

  VP-1850/2200　VP-4100/4200　VP-5100/5200/6200

上記以外のEPSON製プリンタについては、次の条件を満たしていれば、EpsonNet WebManagerで管理できます。

- 次ページ「ネットワークI/F」に記載のネットワークI/Fカードが使用可能なプリンタ、またはネットワークI/Fを標準で装備しているプリンタ

次のEPSON製プリンタは、EpsonNet WebManagerでは管理できません。

- **次ページ「ネットワークI/F」に記載のネットワークI/Fカードが使用できないプリンタ**
- **PSプリンタ（PostScript対応のプリンタ）**

他社製プリンタ

他社製プリンタの場合、プリンタMIBに対応しているプリンタであれば、原則としてEpsonNet WebManagerで探索し、一覧に表示させることが可能です。しかし、プリンタやネットワークI/Fの状態や設定の確認、変更はできない場合があります。

MIB（Management Information Base）とは、ネットワークに接続されているコンピュータや各種の装置の状態を管理する事を目的として、管理のための情報の構造を定めたものです。
他社製のプリンタであってもプリンタMIBに対応していれば、EpsonNet WebManagerはプリンタMIBに登録されている情報によって、そのプリンタの管理を行います。

ネットワークI/F

EpsonNet WebManagerで管理可能なネットワークI/Fは次のとおりです。
（'99年6月現在）

- PRIF8S
- PRIF12
- PRIFNW1/2/2AC
- PRIFNW1S/2S/2SAC
- LP-8200C/9300/9600、EM-900CNに標準装備のネットワークI/F

PRIF8S、PRIF12で使えるのは、状況監視機能のみです。EpsonNet WebManagerから、プリンタやネットワークI/Fの設定を変更することはできません。

使用可能な機能とデバイスの組み合わせ

使用可能な機能

EpsonNet WebManagerのデバイス管理機能は、大きく分けると次のようになります。お使いの環境でこれらの機能が使えるかについては、次ページをご覧ください。

・ デバイスの探索と一覧表示

ネットワーク上に接続されているデバイス（プリンタとネットワークI/F）を探索し、EpsonNet WebManagerで一覧を表示します。また各デバイスの現在の状態を表示します。

・ デバイス詳細

EpsonNet WebManagerで、ネットワーク上のデバイス設定を変更します。

・ ネットワーク設定

EpsonNet WebManagerで、デバイスのネットワークI/F設定を変更します。

・ グループ管理

ネットワークに接続されている複数のデバイスをグループごとにまとめて、デバイス管理を行いやすくします。

デバイスの組み合わせ

プリンタとネットワークI/Fの組み合わせによって、次のように一部の機能が使用できない場合があります。

デバイスの組み合わせ		EpsonNet WebManagerの機能			
プリンタ	ネットワークI/F	デバイスの探索と一覧表示	デバイス詳細	ネットワーク設定	グループ管理
EPSON製プリンタ	PRIF8S/12	○	×	×	○
EPSON製プリンタ	PRIFNW1/2/2AC	○	×	○	○
EPSON製プリンタ（プリンタMIB未対応）	PRIFNW1S/2S/2SAC	○	○	○	○
EPSON製プリンタ（プリンタMIB対応）	PRIFNW1S/2S/2SAC	○	○	○	○
EPSON製プリンタ	プリンタに標準装備のネットワークI/F	○	○	○	○
他社製プリンタ（プリンタ MIB対応）	プリンタで使用可能なネットワークI/F	△	△	×	△

△・・・表示、管理のできない場合があります。

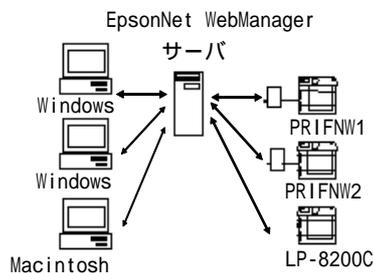
- **EPSON製プリンタで、プリンタMIBに対応している機種は次のとおりです。（'99年6月現在）**
  LP-8200C/9300/9600　　VP-6200
- **EPSON製プリンタで、ネットワークI/Fを標準装備している機種は次のとおりです。（'99年6月現在）**
  LP-8200C/9300/9600、EM-900CN
- **上の表で、「デバイス詳細」が使用可能となっているデバイスでも、プリンタによっては設定できない画面や項目があります。**
- **他社製プリンタ（プリンタMIB対応）でも、ネットワークI/FがHTTPD機能を持っていれば、「ネットワーク設定」が可能なものもあります。**

EpsonNet WebManagerの使用形態

EpsonNet WebManagerは、ネットワーク上でサーバとして機能するコンピュータにインストールし、Webブラウザ上で使用します。
EpsonNet WebManagerの使用形態には次の2種類があります。

① EpsonNet WebManagerとWebブラウザを同一コンピュータ上で使用

ネットワーク上でサーバとして機能するコンピュータに、EpsonNet WebManagerとWebブラウザをインストールします。EpsonNet WebManager専用のサーバを用意する必要はありません。
1台のコンピュータでネットワーク上のデバイスを管理できます。
サーバとなるコンピュータには、Windows95/98/NT4.0/NT3.51をお使いください。

② EpsonNet WebManagerとWebブラウザを別のコンピュータ上で使用

EpsonNet WebManagerはネットワーク上でサーバとして機能するコンピュータにインストールし、Webブラウザはクライアントとして動作するコンピュータにインストールします。

クライアントコンピュータからWebブラウザを起動し、サーバ上のEpsonNet WebManagerにアクセスして、EpsonNet WebManagerを使用します。
この場合、Windowsの他、MacintoshからEpsonNet WebManagerを使用して、ネットワーク上のデバイスの管理を行うことができます。
サーバとなるコンピュータには、Windows95/98/NT4.0/NT3.51をお使いください。

インストール

EpsonNet WebManagerは次の手順でインストールします。Windowsの画面を例に説明します。

EpsonNet WebManagerをクライアントでも使用する場合（前ページの②の場合）は、クライアントにサーバのIPアドレスまたはホスト名を知らせてください。
この場合、クライアントにEpsonNet WebManagerをインストールする必要はありません。

1 環境設定

インストールするコンピュータに、TCP/IPがインストールされ、IPアドレスまたはホスト名が設定されていることを確認します。ホスト名は、Windowsディレクトリでhostsファイルまたは Lmhostsファイルに登録します。

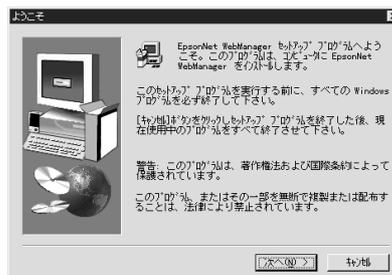
2 インストールの開始

①プリンタドライバ・ユーティリティCD-ROMをコンピュータにセットします。

- **WindowsNT3.51をご利用の場合は、[プログラムマネージャ]を開き[アイコン]メニューの[ファイル名を指定して実行]をクリックして以下のコマンドを入力し、OKボタンをクリックします。**
  例）　D:\EPSETUP（Dドライブに CD-ROMをセットした場合）
- **Windows95/98/NT4.0をご利用の場合で[EPSONインストールプログラム]が自動的に起動しないときは、マイコンピュータ内のCD-ROMアイコンをダブルクリックします。**

②右の画面が自動的に表示されたら、[EpsonNet WebManagerのインストール]をクリックして 次へ ボタンをクリックします。

3 インストール

[ようこそ]の画面が表示されますので 次へ をクリックします。この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

EpsonNet WebManager の起動

起動方法

サーバからの起動

ネットワーク上でサーバとして機能するコンピュータにインストールした場合、
サーバからの起動方法は次のとおりです。

Windows95/98/NT4.0

Windows[スタート]メニューの[プログラム]-[EpsonNet WebManager]-[EpsonNet WebManager]をクリックして起動します。

WindowsNT3.51

次項「クライアントからの起動」に記載されている方法で起動します。

上記の方法とは別に、Web ブラウザから起動することもできます。Web ブラウザからの起動方法については、次項「クライアントからの起動」を参照してください。

クライアントからの起動

ネットワーク上でクライアントとして機能するコンピュータから EpsonNet WebManager を起動するには、はじめにクライアント上で Web ブラウザを起動し、Web ブラウザからサーバにインストールした EpsonNet WebManager を起動します。

1　Web ブラウザの起動

クライアント上で、Web ブラウザを起動します。

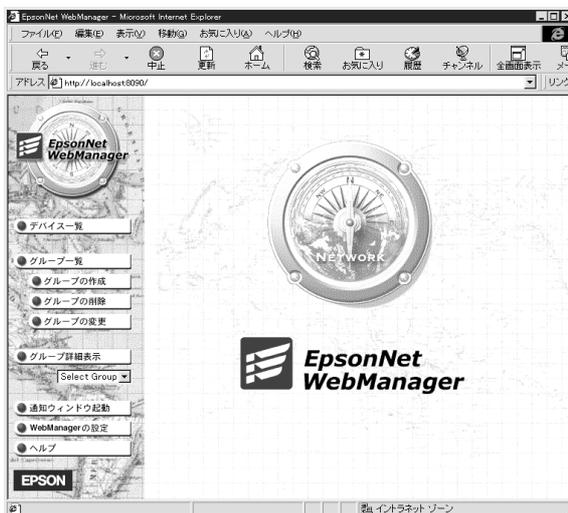
2　EpsonNet WebManager の起動

Web ブラウザ上で、次の URL を入力します。

書式）http:// サーバの IP アドレスまたはホスト名:8090

例）　http://192.168.100.201:8090
（サーバの IP アドレスが 192.168.100.201 の場合）

起動時の画面について

EpsonNet WebManagerが起動すると、はじめに次の画面が表示されます。

上記の画面で、画面左側に表示されているボタンをクリックすると、各ボタンの項目に対応した画面が表示されます。
上記の画面が表示されたら、はじめに画面左側の デバイス一覧 ボタンをクリックしてください。次の画面が表示されます。

上記の画面で、画面中央の デバイス情報更新 ボタンをクリックすると、ネットワークに接続されているデバイスを探索し、デバイスの一覧と各デバイスの状況が画面の下半分に表示されます。

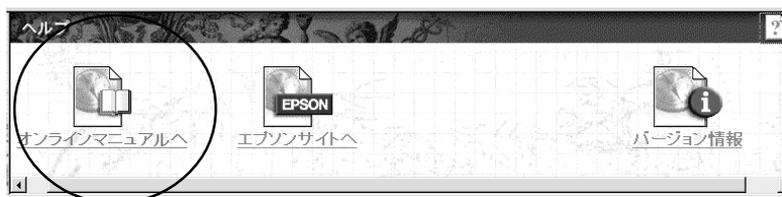
オンラインマニュアルの見方

EpsonNet WebManagerの操作方法は、EpsonNet WebManagerの[ヘルプ]画面にある[オンラインマニュアル]をご覧ください。オンラインマニュアルは次の手順で起動します。

1 ヘルプ画面の表示

EpsonNet WebManagerを起動して、画面左側のメニューにある ヘルプ をクリックします。

2 オンラインマニュアルの表示

次の画面が表示されるので、[オンラインマニュアルへ]をクリックすると、オンラインマニュアルが表示されます。また、EpsonNet WebManagerの各設定画面の右上にある ? ボタンをクリックすると、操作にあったヘルプが表示されます。

アンインストール

EpsonNet WebManagerのアンインストールは次の手順で行います。

Windows95/98/NT4.0

1 コントロールパネルの起動

[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[アプリケーションの追加と削除]を開きます。

2 アンインストール

[セットアップと削除]画面でEpsonNet WebManagerを選択し、追加と削除 ボタンをクリックします。

「’EpsonNet WebManager’とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」というメッセージが表示されるので、はい をクリックします。

WindowsNT3.51

1 アンインストール画面の起動

[EpsonNet WebManager]グループにある[アンインストール]をダブルクリックして起動します。

2 アンインストール

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されるので、はい をクリックします。
「アンインストールが完了しました。」と表示されたら終了です。

12 付録

EpsonNet WinAssist のアンインストール方法などを説明します。

EpsonNet WinAssistのアンインストール

EpsonNet WinAssistのアンインストールは次の手順で行います。

Windows95/98/NT4.0

①[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]を開きます。

②[アプリケーションの追加と削除]を開きます。

③[セットアップと削除]画面で[EpsonNet WinAssist]を選択し、追加と削除 ボタンをクリックします。

④「'EpsonNet WinAssist'とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」というメッセージが表示されるので、はい をクリックします。

WindowsNT3.51

①[EpsonNet WinAssist（共通)]グループにある[アンインストール]をダブルクリックして起動します。

②「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されるので、はい をクリックします。

③「アンインストールが完了しました。」と表示されたら終了です。

ネットワークI/Fの初期化

次のような場合は、プリンタの操作パネルからネットワークI/Fの設定を初期化する必要があります。

- ネットワークI/Fに誤った操作をしたり、ネットワークI/Fが誤動作をして、ネットワークI/Fが設定ユーティリティに表示されなくなったとき
- 設定ユーティリティのパスワードを忘れてしまったとき

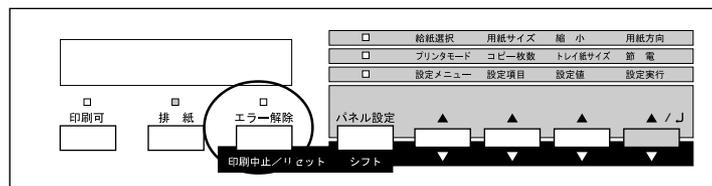
この操作を行うと、ネットワークI/Fの設定だけでなく、操作パネルで設定したすべての値がクリアされます。ご注意ください。

1 プリンタの電源OFF

設定を初期化したいプリンタの電源をオフにします。

2 初期化

操作パネルの[エラー解除]スイッチを押しながら、プリンタの電源をオンにします。[エラー解除]スイッチは、印刷可ランプが点灯するまで押してください。

付録

困ったときは

ここでは、トラブルが発生した時の処置について、各OSごとに説明します。

全OS共通

ネットワークI/Fの設定ができない / ネットワーク印刷ができない

処置）

まず、ネットワークステータスシートが印刷できるかどうかご確認ください。（**「2 ネットワークへの接続」**参照）
ネットワークステータスシートの印刷ができない場合は、プリンタ本体の[I/Fキリカエ]が、[ジドウ]もしくは[ネットワーク]になっているか確認してください。ネットワークステータスシートの印刷が可能な場合は、ネットワークステータスシートに印刷されたネットワークの設定に誤りがないかをご確認ください。

設定するIPアドレスが分からない

処置）

IPアドレスは、外部との接続（インターネットへの接続、電子メールなど）を行う際にはJPNIC(http://www.nic.ad.jp/index-j.html)に申請を行って正式に取得していただく必要がありますので、システム管理者へご相談ください。
IPアドレスを使用するにあたって、外部との接続を将来的にも一切行なわないという条件のもとに、下記の範囲のプライベートアドレスをご使用になることも可能です（RFC1918で規定されています）。

プライベートアドレス：
10.0.0.1 ～ 10.255.255.254
172.16.0.1 ～ 172.31.255.254
192.168.0.1 ～ 192.168.255.254
ただし、ネットワークI/FのIPアドレスに[192.168.1.255]は使用できません。

EpsonNet WinAssistが起動できない

処置）

EpsonNet WinAssistのインストール後に、OS上でプロトコルやサービスの追加、削除を行うと、EpsonNet WinAssistが起動しなくなります。EpsonNet WinAssistをアンインストールし、再度インストールをしてください。

EpsonNet WinAssistの起動時に「TCP/IPプロトコルが利用できません」と表示される

このメッセージは、次のような場合に表示されます。

・　コンピュータにTCP/IPが組み込まれていない場合

・　コンピュータのIPアドレスが正しく設定されていない場合

・　DHCPサーバからアドレスを取得する設定下で、DHCPサーバがない場合

処置）

OK ボタンをクリックするとEpsonNet WinAssistが起動しますが、TCP/IPの設定はできません。お使いのコンピュータの状態を確認して、TCP/IPの組み込みとIPアドレスの設定をしてください。設定方法は**「4 TCP/IPの設定」**をご覧ください。

EpsonNet WinAssist/MacAssistで設定情報を送信すると、「設定情報の送受信が完了していません」というメッセージが表示される

ダイヤルアップルータをお使いの場合に、この現象が発生することがあります。

処置）

EpsonNet WinAssist/MacAssistがインストールされているコンピュータで[MS-DOSプロンプト]を起動し、次のコマンドを実行してください。

書式）>ROUTE_ADD_ネットワークI/FのIPアドレス_設定するコンピュータのIPアドレス（_は半角スペース）

例）　>ROUTE_ADD_192.168.192.168_11.22.33.44

EpsonNet WebAssistが起動できない

処置）

EpsonNet WebAssistを実行するには、まず、プリンタの操作パネルかEpsonNet WinAssist/MacAssist、またはpingコマンドを使用して、ネットワークI/FのIPアドレスを設定する必要があります(**「4 TCP/IPの設定」**参照)。現在の設定は、ネットワークステータスシートの[IP Address]欄で確認できます。

ARP/PING コマンドでネットワーク I/F の IP アドレスを設定できない

処置 1)

操作パネルの[IPアドレスセッテイ]で、[PING]を選択してください。

処置 2)

ping コマンドを実行後、「Reply from (IP address): ...」のメッセージが確認できず、「Request Time Out」や「Reply from .....: Destination host unreachable」などのメッセージが表示される場合は、接続しているネットワークケーブル、ネットワーク機器などのネットワーク環境を確認してください。なお、ARP/PING コマンドによる設定は、同一ネットワーク上でのみ行うことができます。

EpsonNet WinAssist の[モデル名]に何も表示されず、[IP アドレス]に[NONE]と表示される

処置 1)

ネットワーク I/F の IP アドレスが初期値の場合、[モデル名]と[IP アドレス]が表示されない場合がありますが、ネットワーク I/F の設定は行えます。ネットワーク I/F の設定を行うと、正しく表示されるようになります。

処置 2)

EpsonNet WinAssist[表示]メニューの[最新の状態に更新]を実行してください。

処置 3)

EpsonNet WinAssist[ツール]メニューの[タイムアウト設定]で、タイムアウト時間を大きい値に設定してください。この場合、EpsonNet WinAssist の動作が遅くなります。ご注意ください。

NetWare を使用しない /NetWare の使用をやめた

処置)

ネットワーク I/F を NetWare で使用しない場合は、EpsonNet WebAssist の NetWare 設定画面にある[NetWare]欄で[Disable]を選択する必要があります。
NetWare を使用しない場合に[Enable]を設定しておくと、ダイヤルアップルータを使用したときに余分な回線使用料のかかるおそれがあります。
初期値は[Enable]です。

NetWare環境

NetWareサーバ経由の印刷で、クライアントでは印刷が終了するが、プリンタから出力されない

処置）

サーバでキュー/プリントサーバのユーザに、印刷を行なおうとしているユーザが登録されているか確認してください。また、NetWareサーバにネットワークI/Fがログインしているかどうか確認してください。

EpsonNet WinAssistが正しく起動しない

処置）

MicrosoftのService for NetWare Directory Serviceがインストールされているマシンでは、EpsonNet WinAssistでのNDS設定はできません。
NDSサービスをご利用の場合はNovellクライアントサービスをインストールしてください。

EpsonNet WinAssistのリスト画面で、IPXグループにプリンタが表示されない

処置）

次のことを確認してください。

・ プリンタの電源がオンになっているか
・ ネットワークI/Fが、EpsonNet WinAssistを使用しているコンピュータと同一セグメントにあるか（同一セグメントにない場合は、ツールメニューの探索オプションで設定してください）

EpsonNet WinAssistの起動に時間がかかる

コンピュータにNovellクライアントサービスなどをインストールしている場合や、Microsoft社製NetWareクライアントをインストールしている場合、ダイヤルアップネットワークにIPXを使用するため、EpsonNet WinAssistの動作が遅くなる場合があります。これらが必要でない場合は、使用しない設定にしてください。

処置）

① [マイコンピュータ]-[コントロールパネル]-[ネットワーク]で、IPX/SPX互換プロトコルを使用しないネットワークアダプタを選択して、[プロパティ]を起動します。
② [バインド]タブを選択して、使用しないIPX/SPX互換プロトコルや、Novell NetWareクライアント用プロトコルのチェックを外します。

付録

Macintosh 環境

セレクタにプリンタが表示されない

処置）

次のことを確認してください。

・ Open Transport 搭載機種の場合：
　コントロールパネルの[AppleTalk]で[Ethernet]が選択されているか

・ Open Transport 非搭載機種の場合：
　コントロールパネルの[ネットワーク]で[EtherTalk]が選択されているか

セレクタで AppleTalk が[使用]になっているか、ハブ、ケーブルなどのネットワーク機器もあわせてご確認ください。

Windows95/98 環境

Windows95/98 から EpsonNet Direct Print を使って印刷した時に、ダイヤルアップ接続ダイアログが表示される

処置）

インターネットの設定で[起動時にダイヤルアップでインターネットに接続](インターネットエクスプローラ 4.0x の場合は[モデムを使用してインターネットに接続])が設定されていると、このメッセージの出ることがあります。キャンセルするとその後は正常に印刷されますが、この設定を変更しないと Windows 起動後の最初の印刷時には、毎回メッセージが表示されます。

索引

記号

A

E

I

L

M

N

P

S

T

ア

イ

エ

オ

カ

キ

付録

コ

サ

シ

ス

ソ

タ

ツ

テ

ト

ネ

ハ

フ

ホ

メ

モ

リ

ワ